

溶剤インク カラーインクジェットプリンタ

IP-7900/7700

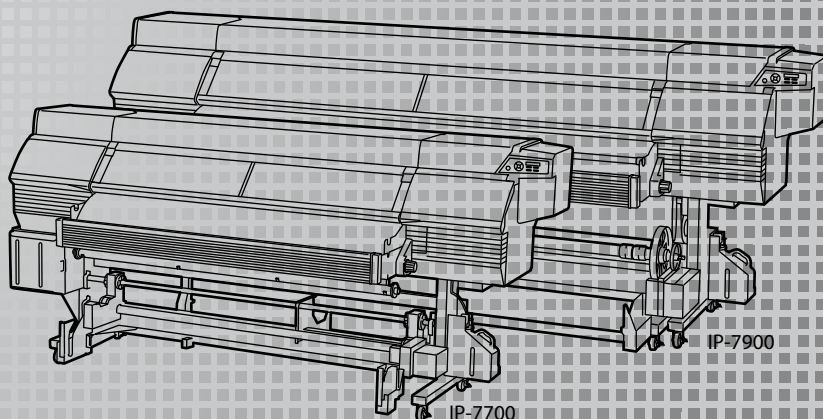
応用操作ガイド

ご使用の前に、本書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。

また、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管してください。

U00117678301

Color Painter H-104s / H-74s



U00117678301 2010 年 5 月

© 株式会社セイコーアイ・インフォテック 2010

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JISC61000-3-2 適合品」

JISC61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たり
の入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

警 告

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関係法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条等

はじめに

このたびは、IP-7900/7700 溶剤インク カラーインクジェットプリンタ（以後、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、USB インタフェースを搭載し、104 インチ幅まで（IP-7700 は 74 インチ幅まで）のメディア対応の溶剤インクを採用したカラーインクジェットプリンタです。

本書、「**IP-7900/7700 溶剤インク カラーインクジェットプリンタ 応用操作ガイド**」では、主に本機の調整や機能設定操作について説明しています。

ご使用の前に知っておいていただきたい情報や、電源のオン／オフ、メディア・インクのセット方法など、基本的な取り扱い方法に関しては、別冊の「基本操作ガイド」をご覧ください。

なお、基本操作ガイドに記載の次の事項は、本機を正しく安全にお取り扱いいただくために、本機をご使用になる前に必ずお読みください。

- ・安全にお使いいただくために
- ・納入品
- ・マニュアルの表記について

また、本書はお読みいただいた後も、必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。

目的別もくじ



基本操作ガイド

本機を初めて使う場合にまずはお読みください。
メディアのセット方法、印刷から印刷物の回収、使用後のメンテナンス方法など、日常的な使用方法を説明しています。

参照ページ

とりあえず印刷したい！

📖 26 ページ

いろんなメディアで印刷したい！

📖 52 ページ

両面印刷をしたい！

📖 61 ページ

プリンタのメンテナンス方法は？

📖 66 ページ

インクパックを交換したい！

📖 98 ページ

廃インクボトルを交換したい！

📖 96 ページ

エラーメッセージが表示された！

📖 88 ページ

メディアジャムになった場合は？

📖 87 ページ



応用操作ガイド

細かい設定や調整など、本機の性能を十分に発揮させ、効果的に本機をご使用いただくための内容を説明しています。

プリンタの細かい調整をしたい！

参照ページ
📖 74 ページ

メディアを登録したい！

📖 26 ページ

印刷物にスジ、カスレ、ニジミがある！

📖 46 ページ

色切り換え（4色→8色、8色→4色）をしたい！

📖 60 ページ

プリンタの電源をオフにする場合は？

📖 8 ページ

シートメディアに印刷するには？

📖 37 ページ

印刷中にヒータの温度を変えたい！

📖 68 ページ

もくじ

はじめに	3
マニュアルの表記について	7

こんなときは 8

電源をオフする 8

◆サービスクリーン	9
◆ヘッドウォッシュ	14
◆ヘッドウォッシュ後のインク充填	19

プリンタの情報を確認する 22

◆インクの残量を確認したい	22
◆メディアの残量を確認したい	23
◆プリンタ情報を見たい	23
◆USB の接続状態を確認したい	24
◆システム F/W のバージョンを確認したい	25
◆プリンタの積算印刷距離を確認したい	25

メディアの取り扱い 26

◆メディアを登録したい	26
◆登録したメディアを呼び出したい	28
◆左右の余白をできるだけなくしたい	28
◆メディアの張り付きをなくしたい	30
◆メディアの浮き上がりを防止したい	30
◆厚いメディアに印刷したい	31
◆自動クリーニングのタイミングを変えたい	32
◆登録されているメディアをコピーしたい	33
◆メディアを送りたい／戻したい	34
◆印刷の書き出し位置を移動させたい	36
◆シート（カット）メディアに印刷したい	37

プリンタの設定をする 40

◆警告音を鳴らさないようにしたい	40
◆システム F/W をアップデートする	41

クリーニングオプション 42

◆プリントヘッドを選んでクリーニングしたい	42
-----------------------	----

メディア送り補正值の管理 44

◆印刷中にメディア送り補正值を変更する	44
---------------------	----

印刷モードについて 45

こんな症状が出たら 46

◆印刷が薄い	46
◆印刷開始時に印刷抜けが発生する	46

◆メディアにシワ・カールが発生する	47
◆印刷物に白スジが入る	48
◆印刷物に黒スジが入る	49
◆印刷物に汚れが入る	51
◆印刷物にニジミが入る	53
◆印刷物の端に縦スジが入る	54
◆印刷物の左右で異なるスジが入る	55

印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる 56

◆強力クリーニング	56
◆フィルキャップ	57
◆キャップ CL 充填	58

色切り換え（8色→4色、4色→8色）をする 60

ヒータの設定をする 68

◆ヒータ温度設定の流れ	68
◆ヒータコントロールメニューを表示する	69
◆ヒータコントロールメニューのキー操作	69
◆ヒータコントロールメニューの表示を終了する	69
◆初期値温度を設定する	70
◆スタンバイ時間を設定する	71

スマートパステクノロジーについて 72

調整する 74

調整をする前に 74

◆スマートパステクノロジー「#ガシツモード」 の変更手順	74
---------------------------------	----

調整方法 75

◆メディアの送り量を調整する「オクリチョウセイ」	75
◆プリントヘッドの位置を調整する「ヘッド位置調整」	78
◆プリントヘッドの左右のノズル位置を調整する「ヘッド左右調整」	80
◆往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」	82
◆エッジセンサの位置を補正する「エッジセンサ調整」	87
◆自動クリーニング前後の画像のつなぎ目を調整する「戻し調整」	89

メニューツリー 92

索引 98

マニュアルの表記について

本書で説明に使用する、マーク、キー／LCD／LEDなどの表記ルールを以下に示します。

マーク表記について



警告

- ◆ 安全上の注意における「警告」に相当する内容を説明しています。



注意

- ◆ 安全上の注意における「注意」に相当する内容を説明しています。



参考文

- ◆ 知っておくと便利なこと、操作などの補足事項を記載しています。

📖「参照」マークです。
このマークの後に、参照項や参照ページを示しています。



電源をオフする

本機はプリントヘッドの状態を良好に保つため、装置が待機状態になってから 72 時間経過したのち、フィルキャップ動作を行います。(その後は 3 日毎に行います。)

そのため、本機の電源は常にオンのままにしておくことを推奨いたします。

やむを得ず長期間使用しない場合は、以下の参照して電源をオフしてください。



フィルキャップとは？

◆ キャップ内にインクを充填してプリントヘッド(ノズル面)をインクで浸し、ノズル詰まりを防ぐ機能です。



電源オフ

一時的

数日間

2週間以上

1ヶ月以上



電源オン

サービスクリーン 9 ページ

プリントヘッドとインク経路を保管液で洗浄後、保管液を充填した状態で保存します。保管液セットをご用意ください。

本機を 1 ヶ月以上放置する場合は、あらかじめ購入先または、最寄りの弊社サービス拠点にご相談ください。

ヘッドウォッシュ 14 ページ

洗浄液でプリントヘッドおよびインク経路を洗浄します。洗浄液セットをご用意ください。

サービスコールエラーが表示されますので、販売店または最寄りの当社サービス拠点までご連絡ください。

インク充填 19 ページ

ヘッドウォッシュを実施後、インクトレイを挿入し、インクを充填します。

日常メンテナンス

日常メンテナンスを実施してください。



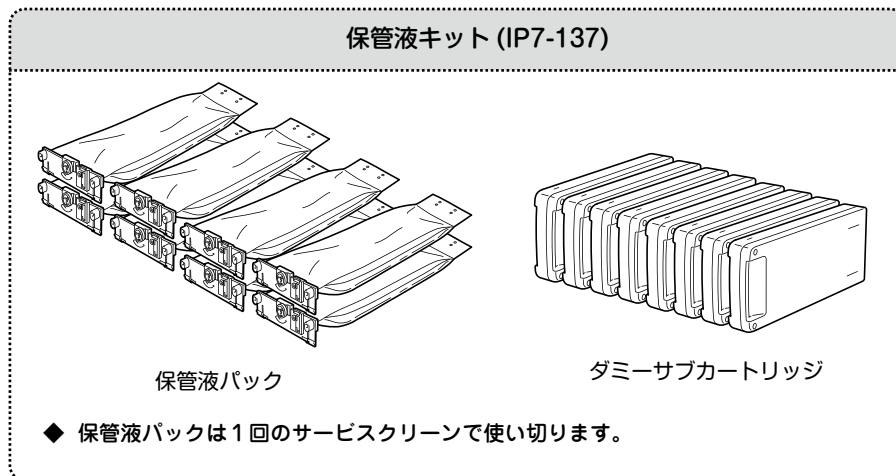
注意

- ◆ プリントヘッド保護のために、本機にインクが空の状態です 1 ヶ月以上放置することは避けてください。
- ◆ サービスクリーン、ヘッドウォッシュ実行中にフロントカバーや加圧操作ノブを開閉しないようにしてください。開閉すると、動作を最初からやり直す場合があります、インクやクリーニング液が無駄になる場合があります。

- 電源をオフする／●プリンタの情報を確認する／●メディアの取り扱い／●プリンタの設定をする／●その他
- 印刷モードについて／●こんな症状が出たら／印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる／
- 色切り換え（8色→4色、4色→8色）をする／●ヒータの設定をする／●スマートパステクノロジーについて

◆サービスクリーン

- **必要なもの** 作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。



■ ご注意

- ◆ LCD 上ではサブカートリッジ（カバー）のことをサブタンク（カバー）と表示します。

サブ・タンクカバー
ハス・シテクダ・サイ — サブカートリッジカバーのことです。

Lm2サブ・タンクハス・シテクダ・サイ — サブカートリッジのことです。

1 廃インクボトルを空にする

2

↑インク	トウロク↓
←メディア	オクリ→



MENU

本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す

3

↑バックフィード	フィード↓
←クリーニング	サービス→



キーを押す

4

#キャップ・クリーニング
>



キーを押して、「#サービスクリーン」を選択する

5

#サービス
>サービス・スクリーン



キーを押す

6

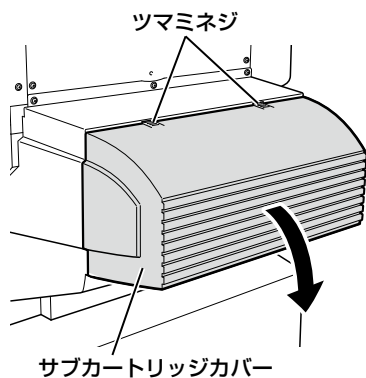
#サービ ス
*サービ ススクリーン



OK

OK キーを押す

7

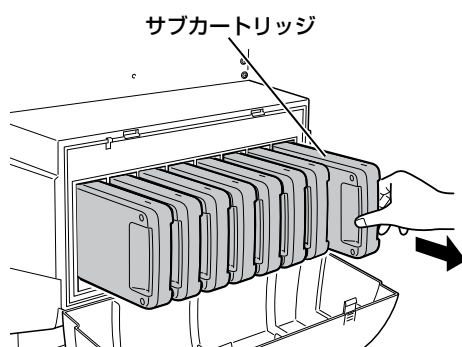


サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

サブ タンクカバー
ハス シテクタ サイ

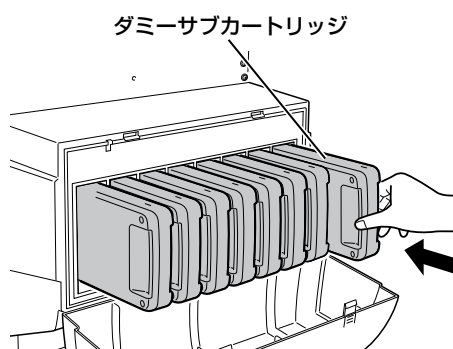
8



サブカートリッジ (8 本) を取り外す

サブ タンクハス シテクタ サイ

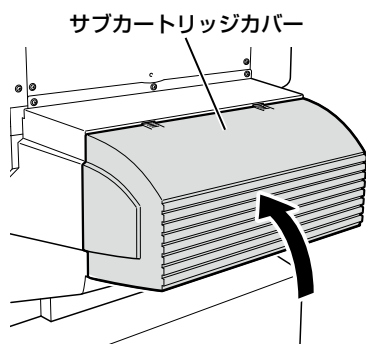
9



保管液セットのダミーサブカートリッジをセットする

Y1ダ ミーサブ タンク
セットシテクタ サイ

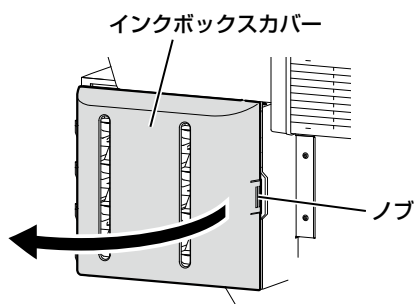
10



サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

サブ タンクカバー
トリツケテクタ サイ

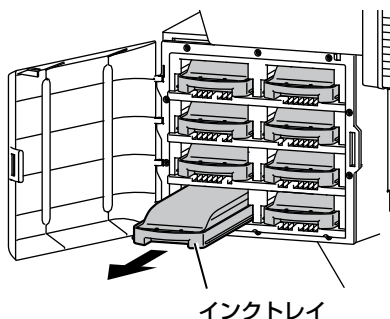
11



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

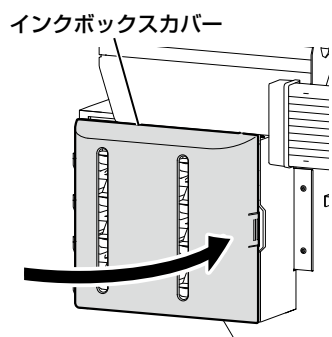
12



インクトレイ（8個）を取り外す

Y1インクパック
ヌイテクタサイ

13



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタサイ

14

ヌキトリスタート
*ホトルカクニ OK?



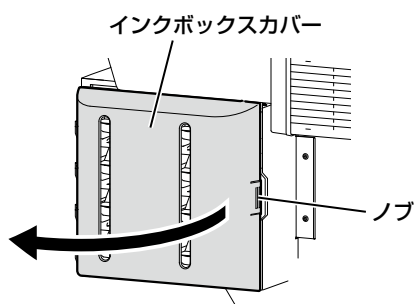
ヌキトリチュウ
シハラクオマチクタサイ

12

OK キーを押す

抜き取りを実行します。

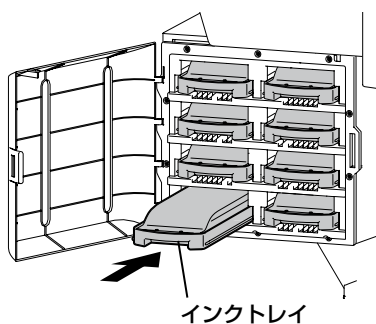
15



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

16

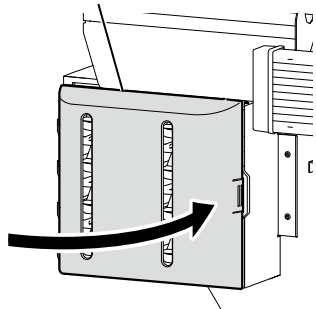


保管液パックをセットしたインクトレイをセットする

Y1ホカンエキパック
セットシテクタサイ

17

インクボックスカバー



18

シユウテンスタート
*ホトルカクニン OK?

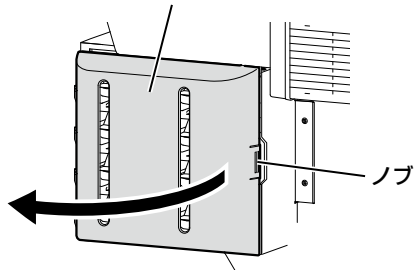


OK

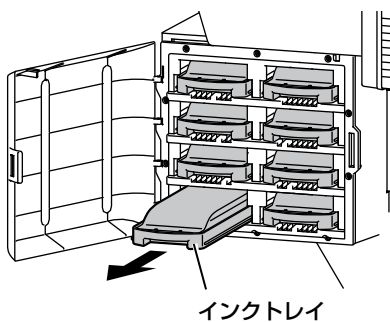
シユウテンチュウ
シハラクオマチクタサイ 12

19

インクボックスカバー

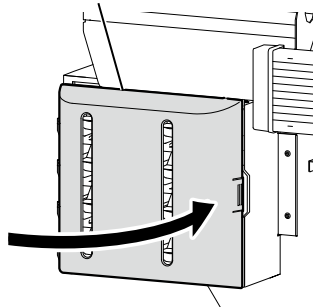


20



21

インクボックスカバー



22

ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?



OK

ヌキトリチュウ
シハラクオマチクタサイ 12

インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクダサイ

◇ 別売のインクトレイに予め保管液パックをセットしておくと、作業をスムーズに行うことができます。

OK キーを押す

インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクダサイ

保管液パックをセットしたインクトレイを取り外す

Ｙ１ホカンエキハックラ
ヌイテクダサイ

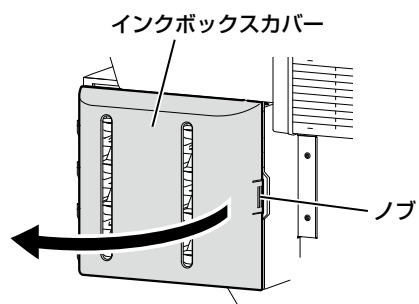
インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクダサイ

OK キーを押す

抜き取りを実行します。

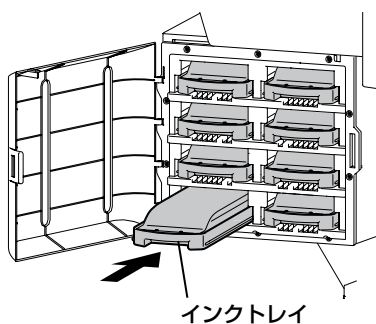
23



インクボックスカバーを開ける

インクカバーヲ
アケテクダサイ

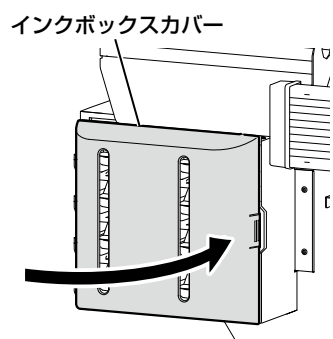
24



保管液パックをセットしたインクトレイをセットする

Y 1 ホカンエキハッくら
セットシテクダサイ

25



インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクダサイ

26

ジューテンスタート
*ホトルカクニン OK?



ジューテンチュウ
シハラクオマチクダサイ 12

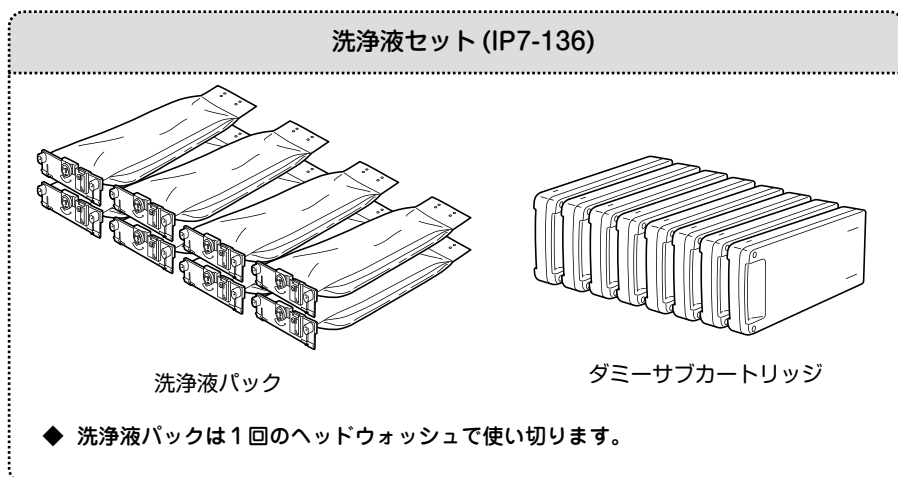


#サービス
>サービスクリーン

OK キーを押す

◆ヘッドウォッシュ

- **必要なもの** 作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。



■ ご注意

- ◆ LCD 上ではサブカートリッジ（カバー）のことをサブタンク（カバー）と表示します。

サブタンクカバー
サブカートリッジカバーのことです。

Lm2サブタンク
サブカートリッジのことです。



◇ 別売のインクトレイに予め洗浄液パックをセットしておくと、作業をスムーズに行うことができます。

1 廃インクボトルを空にする

2

↑インク	トウロク↓
←メティア	オクリ→



M E N U

本機をオフラインにして、**M E N U** キーを押す

3

↑バックフィード	フィード↓
←クリーニング	サービス→



> キーを押す

4

#キャップクリーニング
>



...

✓ キーを数回押して、「# サービス」を選択する

5

#サービス
>サービススクリーン



OK キーを押す

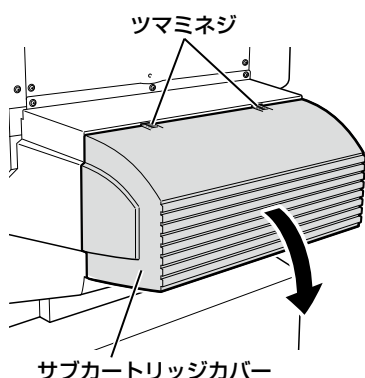
6 #サービ ス
*サービ ススクリーン



7 #サービ ス
*ヘッ ド ウォ ッ シ ュ

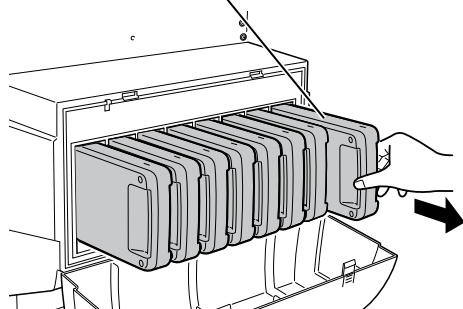


8



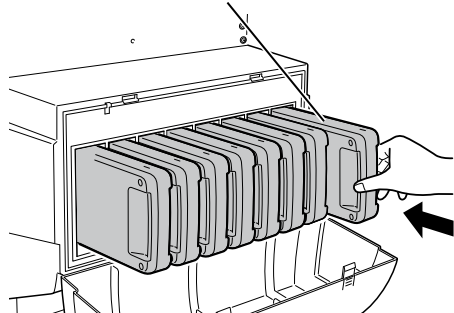
9

保管液セットのダミーサブカートリッジ



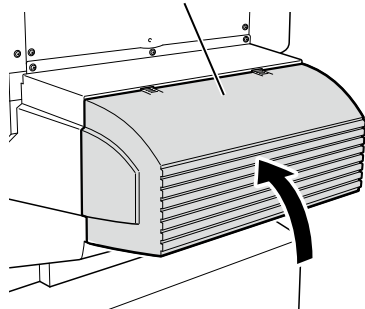
10

洗浄液セットのダミーサブカートリッジ



11

サブカートリッジカバー



✓ キーを押して、「*ヘッ ド ウォ ッ シ ュ」を
選択する

OK キーを押す

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカ
バーを開けます。

サブ タンクカバ ーヲ
ハズ シテクタ サイ

保管液セットのダミーサブカートリッジ (8本)
を取り外す

Y1タ ミーサブ タンクヲ
ハズ シテクタ サイ

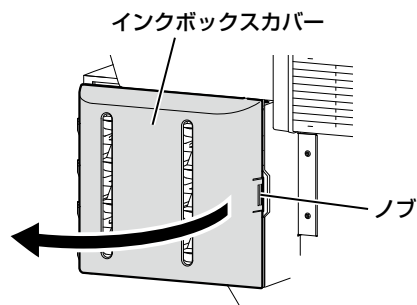
洗浄液セットのダミーサブカートリッジ (8本)
をセットする

Y1タ ミーサブ タンクヲ
セットシテクタ サイ

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ
所を締める

サブ タンクカバ ーヲ
トリツケテクタ サイ

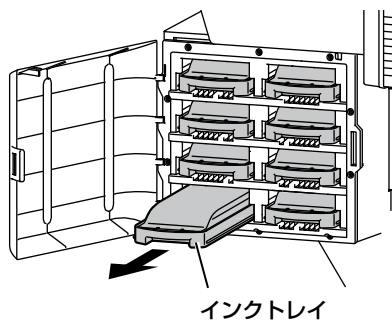
12



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクターサイ

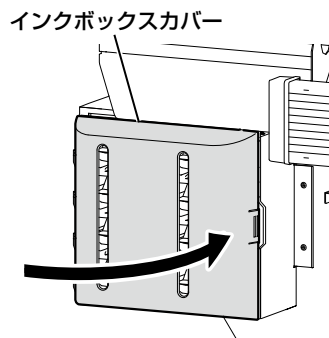
13



インクトレイ（8個）を取り外す

Y 1 ホカンエキハックラ
ヌイテクターサイ

14



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクターサイ

15

ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?

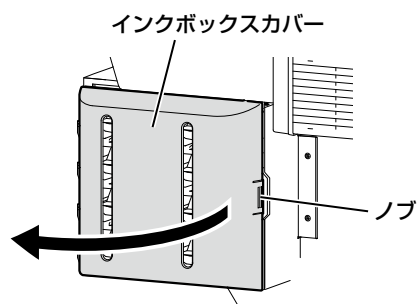


ヌキトリチュウ
シハラクオマチクターサイ 12

OK キーを押す

抜き取りを実行します。

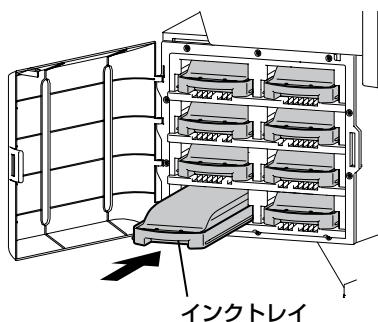
16



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクターサイ

17

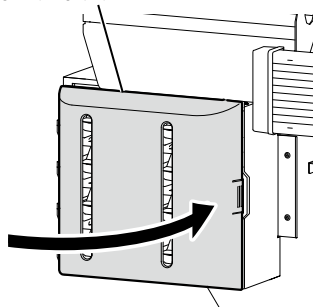


洗浄液パックをセットしたインクトレイをセットする

Y 1 センジ ヨウエキハ ックヲ
セットシテクタ サイ

18

インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクタ サイ

19

ジ ュウテンスタート
*ボ トルカクニ OK ?

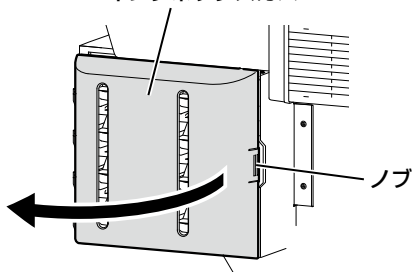


OK キーを押す

ジ ュウテンチュウ
シハ ラクオマチクダ サイ 1 2

20

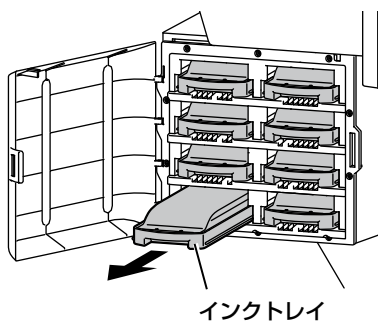
インクボックスカバー



インクボックスカバーを開ける

インクカバーヲ
アケテクタ サイ

21

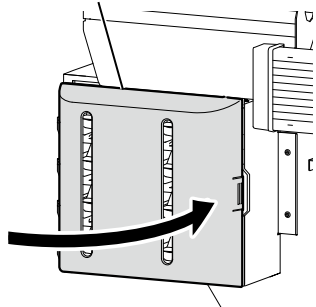


洗浄液パックをセットしたインクトレイを取り外す

Y 1 センジ ヨウエキハ ックヲ
ヌイテクタ サイ

22

インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクターサイ

23

ヌキトリスタート

*ボトルカクニン OK?



OK

ヌキトリチュウ

シハラクオマチクターサイ

12

OK キーを押す

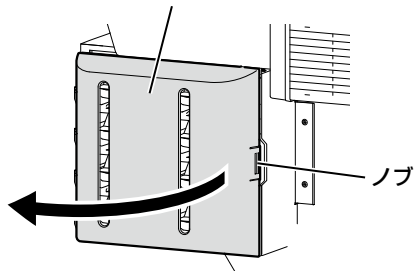
抜き取りを実行します。

24

16 ~ 19 の手順をくりかえし、再度洗浄を実行する

25

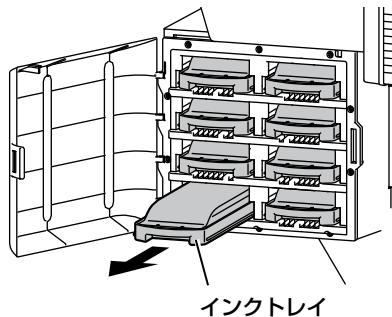
インクボックスカバー



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクターサイ

26

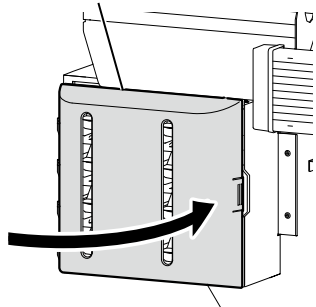


洗浄液パックをセットしたインクトレイを取り外す

Y1 センシヨウエキパッくら
ヌイテクターサイ

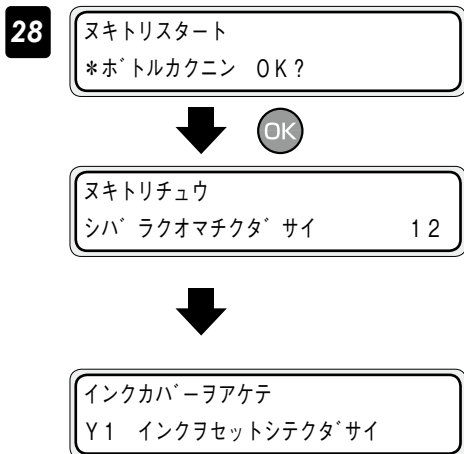
27


インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

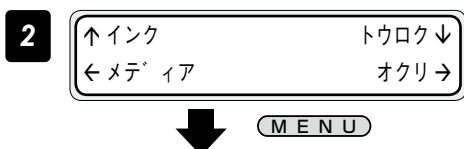
インクカバー
シメテクターサイ




 キーを押す


◆ヘッドウォッシュ後のインク充填

1 廃インクボトルを空にする




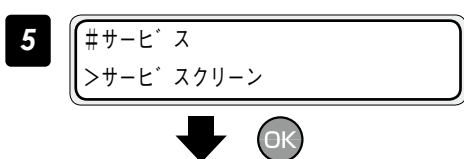
本機をオフラインにして、 キーを押す




 キーを押す




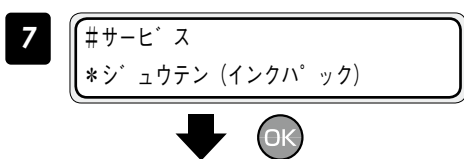
 キーを数回押して、「#サービス」を選択する




 キーを押す



 キーを数回押して、「*ジュウテン（インクパック）」を選択する



 キーを押す

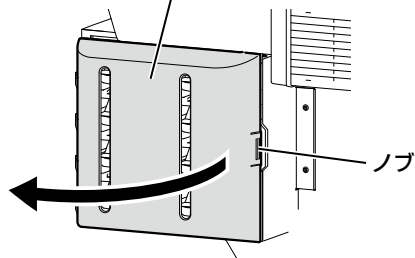
8

#サービ ス
*ホ トルカクニ ン OK?

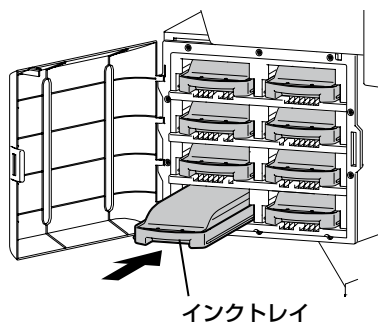


9

インクボックスカバー

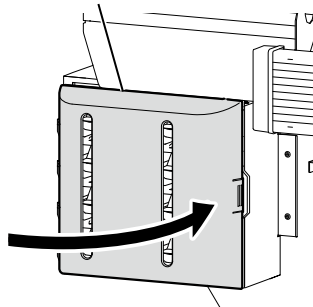


10



11

インクボックスカバー



12

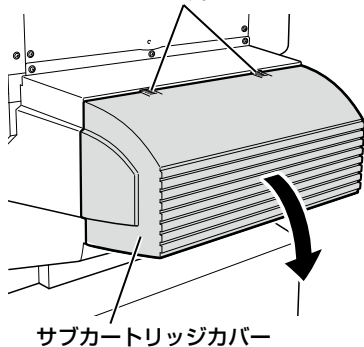
シ ュウテンスタート
*ホ トルカクニ ン OK?



シ ュウテンチュウ
シハ ラクオマチクタ サイ 12

13

ツマミネジ



サブカートリッジカバー

廃インクボトルが空になっていることを確認し
て、**OK** キーを押す

インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタ サイ

インクトレイをセットする

Y 1 インクハ ックラ
セットシテクタ サイ

8色機モード

インクトレイ

Lg8	Y1
M7	Lm2
Lc6	C3
K5	Gy4

4色機モード

インクトレイ

Y8	Y1
M7	M2
C6	C3
K5	K4

インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタ サイ

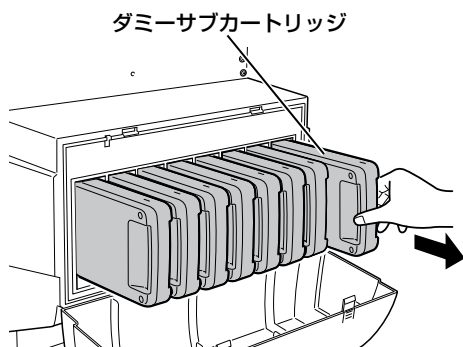
OK キーを押す

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカ
バーを開けます。

サブ タンクカバー
ハス シテクタ サイ

14

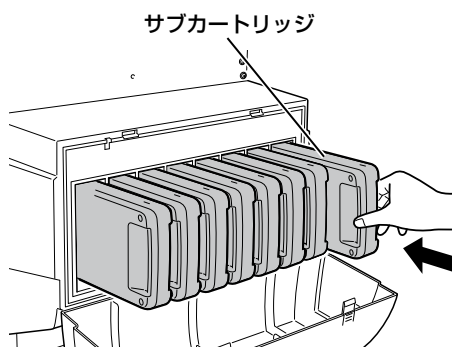


ダミーサブカートリッジ

保管液セットのダミーサブカートリッジ（8本）を取り外す

Y1サブ タンクヲハス シテクタ サイ

15



サブカートリッジ

サブカートリッジ（8本）をセットする

Y1サブ タンクヲ
セットシテクタ サイ

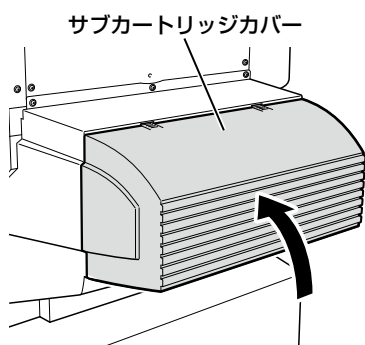
8色機モード

サブカートリッジ							
Y	Lm	C	Gy	K	Lc	M	Lg
1	2	3	4	5	6	7	8

4色機モード

サブカートリッジ							
Y	M	C	K	K	C	M	Y
1	2	3	4	5	6	7	8

16



サブカートリッジカバー

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

サブ タンクカバ ーヲ
トリツケテクタ サイ

17

#クリーニングスタート
*ボトルカクニン OK?



クリーニングチュウ
シハ ラクオマチクタ サイ 12



#サービ ス
>シ ュウテン (インクハ ック)

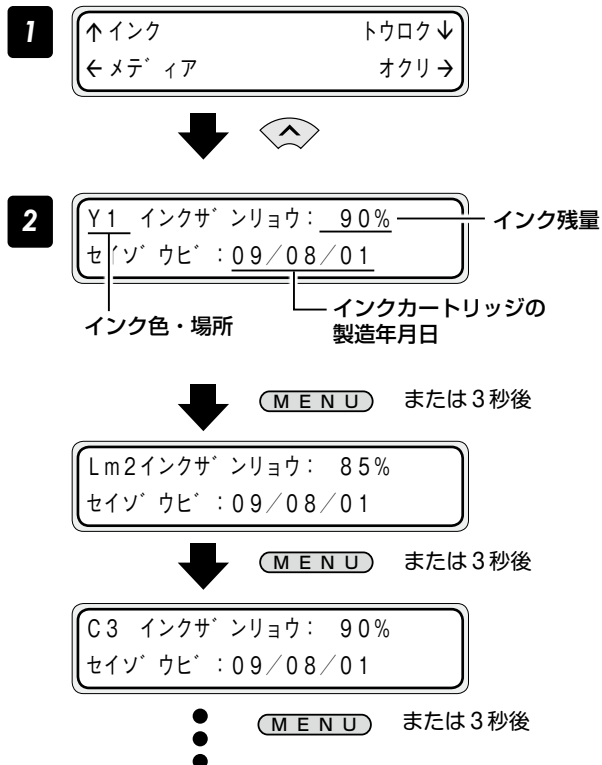
OK キーを押す

ツウジョウクリーニングが行われます。
クリーニングが終了すると元の画面に戻ります。

プリンタの情報を確認する


◆インクの残量を確認したい

■ オフラインにして確認する




本機をオフラインにし、 キーを押す

M E N U キーを押してインク色を切り替える
3秒間隔でインク色が切り替わります。

CANCEL キーまたは  キーを押すとオフライン(メニューモード) 表示に戻ります。

ONLINE キーを押すとオンライン(アイドルモード) 表示に移行します。

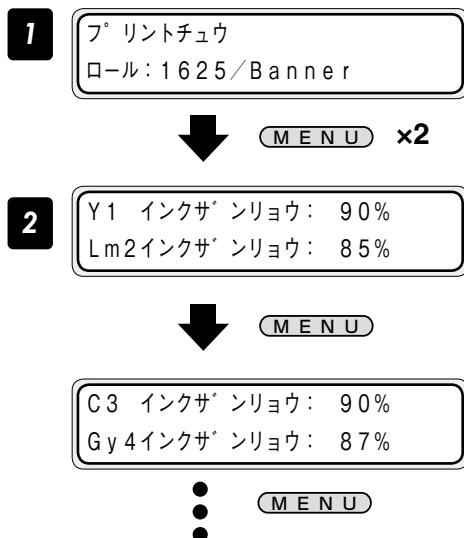
 **インク残量が少なくなると…**

◇ 以下のように表示されます。

Y1 インクサ`ンリョウ: LOW
セ`ゾ`ウビ` : 09/08/01

インク色・場所

■ 印刷中(オンライン中)に確認する

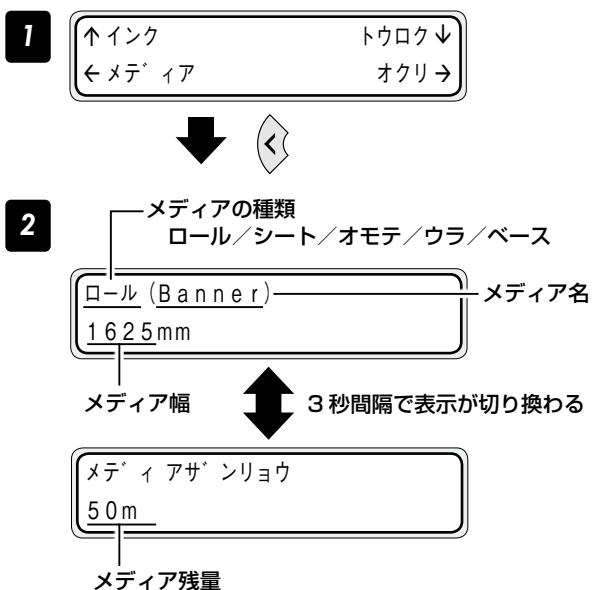


M E N U キーを2回押す

M E N U キーを押してインク色を切り替える

◆メディアの残量を確認したい

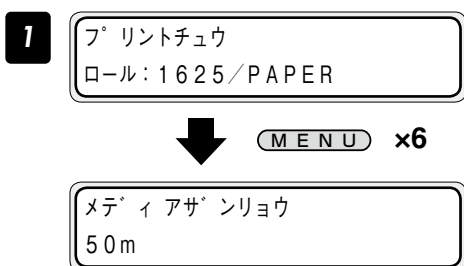
■ オフラインにして確認する




本機をオフラインにし、 キーを押す

3秒間隔で表示が切り替わり、メディア残量が表示されます。

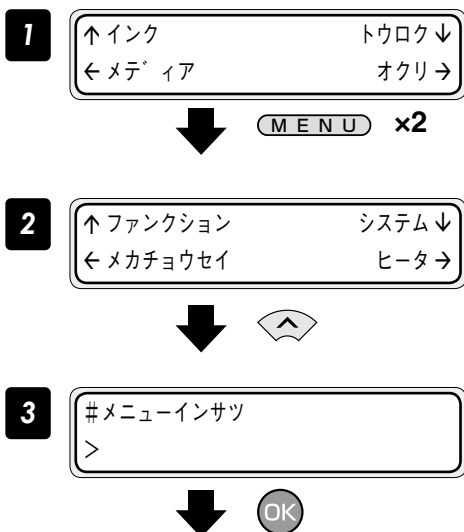
■ 印刷中（オンライン中）に確認する




 キーを6回押す


◆プリンタ情報を見たい

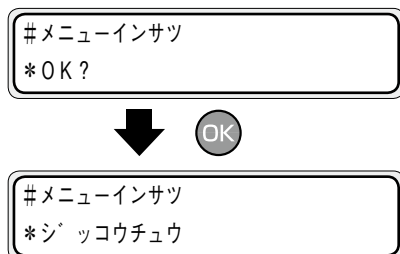
プリンタ情報、パネル設定情報などを印刷します。



本機をオフラインにし、 キーを2回押す

 キーを押す

 キーを押す



OK キーを押す
プリンタ情報が印刷されます。

◆ USB の接続状態を確認したい



本機をオフラインにし、**MENU** キーを2回押す

✓ キーを押す

✓ キーを数回押して、「# USB アドレス」を選択する

USB アドレスが表示される

USB アドレスが「000」と表示された場合、USB ケーブルを接続し直してください。

✓ キーを押す

USB スピードが表示される

「FULL-SPEED」と表示された場合、印刷が遅くなります。

◆システム F/W のバージョンを確認したい

1 ↑インク トウロク↓
←メテ ィア オクリ→

↓ MENU x2

2 ↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒータ→

↓

3 #LANGUAGE
>JAPANESE

↓

#F/Wバージョン
*X. XX_YY

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

キーを押す

キーを数回押して、「# F/W バージョン」を選択する

システム F/W バージョンが表示される

◆プリンタの積算印刷距離を確認したい

本機がこれまでに印刷した距離の合計を確認することができます。

1 プリントチュウ
ロール: 1625/PAPER

↓ MENU

ソウコウキョリ
XXXXXXXXm

積算印刷距離

オンライン中に MENU キーを押す

メディアの取り扱い

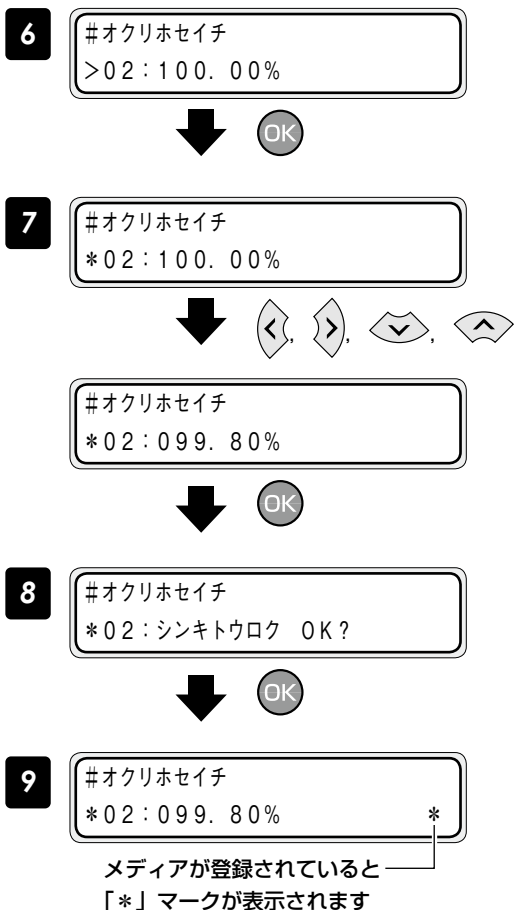
◆メディアを登録したい

以下のトウロクメニューのメディア情報を 20 個登録できます。



ここでは、メディア番号「02」のメディアに、送り補正值を入力する方法を例にして説明します。





OK キーを押す

送り補正値を入力し、**OK** キーを押す

<, **>** キーで桁を合わせ、**✓**, **✗** キーで数値を設定します。

OK キーを押す

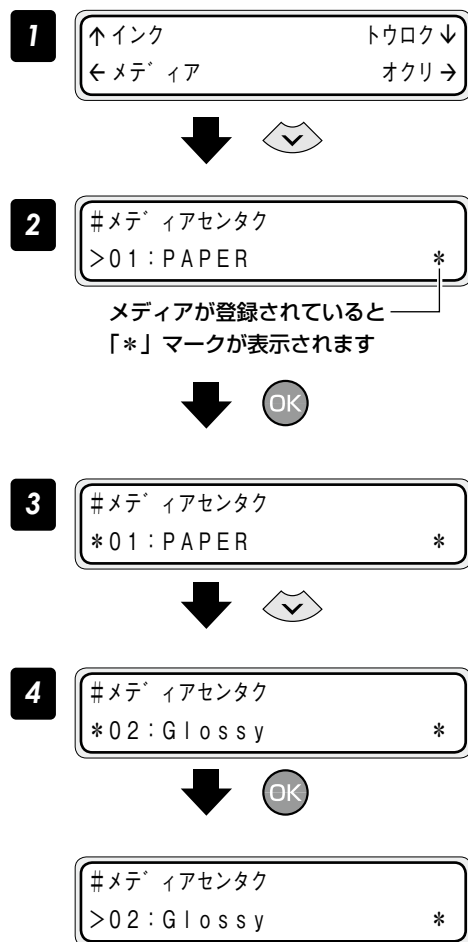
■ プリセットメディア初期値

最大 20 種類（メディア番号 01 ～ 20）のメディアが登録でき、登録したメディアの削除や変更も可能です。ただしメディア番号 01(PAPER) および現在本機にセットされているメディアを削除することはできません。以下に初期値を示します。


メディア番号 設定内容	01	02	03	04	05
メディア名	PAPER	Glossy	Matte	Banner	BLT_B
送り補正値	100.00%	※	100.00%	100.00%	100.00%
エッジガード	使用	使用	使用	使用	使用
メディア送りモード	シーケンス1	シーケンス1	シーケンス1	シーケンス2	シーケンス2
メディア戻しモード	戻す	戻す	戻す	戻す	戻す
吸着ファン	中	中	中	弱	弱
アフターヒータ初期値	**℃	45℃	45℃	45℃	45℃
プリントヒータ初期値	**℃	40℃	40℃	40℃	40℃
プリヒータ初期値	**℃	45℃	45℃	45℃	45℃
カラーストライプ	オン	オン	オン	オン	オン
ヘッド高さ調整	+0.00mm	+0.00mm	+0.00mm	+0.00mm	+0.00mm
画質モード	モード1	モード1	モード1	モード1	モード1
クリーニングモード	モード1	モード1	モード1	モード1	モード1
戻し補正値	+0000 パルス	+0000 パルス	+0000 パルス	+0000 パルス	+0000 パルス
待機間隔	0000 スキャン (なし)	0000 スキャン (なし)	0000 スキャン (なし)	0000 スキャン (なし)	0000 スキャン (なし)
待機時間	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒
往復補正値 1	+00	+00	+00	+00	+00
往復補正値 2	+00	※	+00	+00	+00
往復補正値 3	+00	※	+00	+00	+00
往復補正値 4	+00	+00	+00	+00	+00


※工場出荷時に調整された値が設定されています。


◆登録したメディアを呼び出したい



本機をオフラインにし、 キーを押す

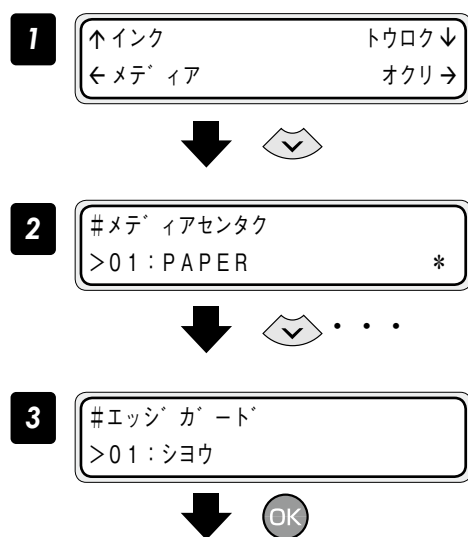
 キーを押す


 キーを押す
呼び出したいメディアを選択します。


 キーを押す


◆左右の余白をできるだけなくしたい

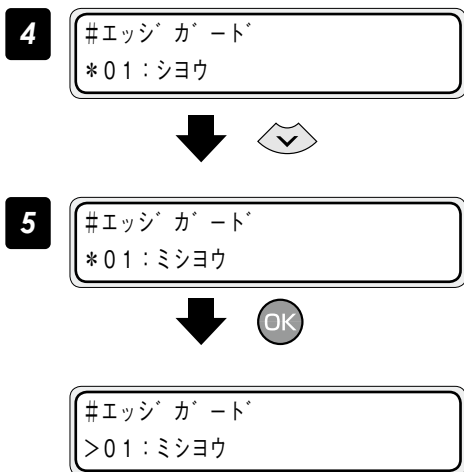
■メディアエッジガードの使用を「未使用」にする





本機をオフラインにし、 キーを押す

 キーを数回押して、「#エッジガード」を選択する

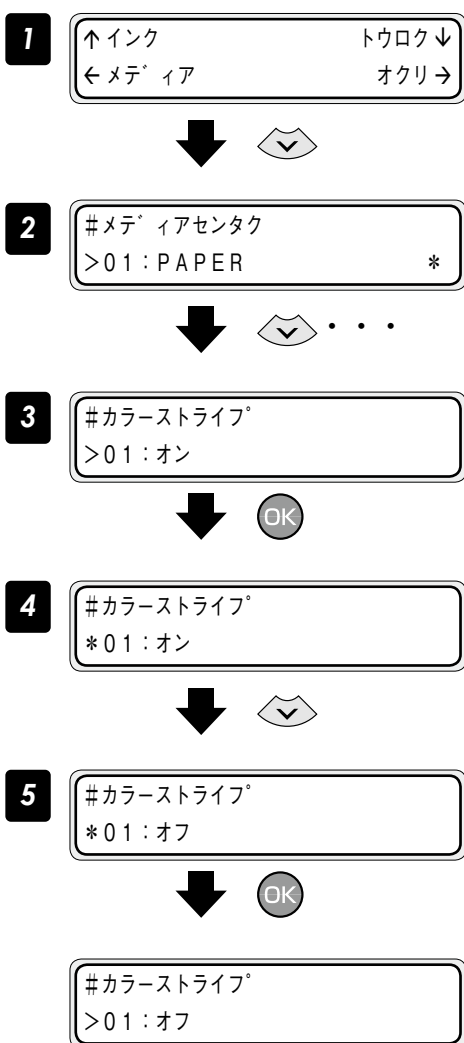
 キーを押す





 キーを押す


 キーを押す


■ カラーストライプの印刷をオフにする




本機をオフラインにし、 キーを押す

 キーを数回押して、「#カラーストライプ」を選択する

 キーを押す

 キーを押す

 キーを押す

◆メディアの張り付きをなくしたい

プラテンにメディアを吸着させる力（ファンの風量）を「弱」にします。コシの弱いメディアなどで、シワが発生する場合は「ジャク」を選択してください。

- 1

↑インク	トウロク↓
←メディア	オクリ→
 - 2

#メディアセンタク	*
>01:PAPER	

 . . .
 - 3

#キュウチャクファン
>01:キョウ
 - 4

#キュウチャクファン
*01:キョウ

 x2
 - 5

#キュウチャクファン
*01:シ`ャク
- #キュウチャクファン
>01:シ`ャク

本機をオフラインにし、 キーを押す

キーを数回押して「#キュウチャクファン」を選択する

キーを押す

キーを2回押す

キーを押す

◆メディアの浮き上がりを防止したい

プラテンにメディアを吸着させる力（ファンの風量）を「強」にします。

- 1

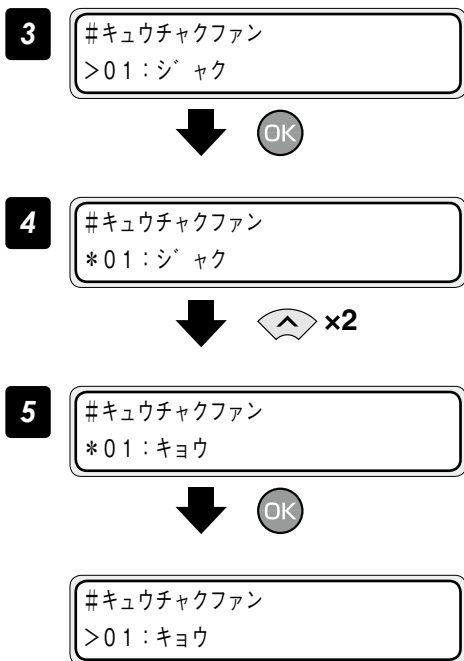
↑インク	トウロク↓
←メディア	オクリ→
- 2


#メディアセンタク	*
>01:PAPER	


 . . .


本機をオフラインにし、 キーを押す

キーを数回押して、「#キュウチャクファン」を選択する



 キーを押す

 キーを2回押す

 キーを押す

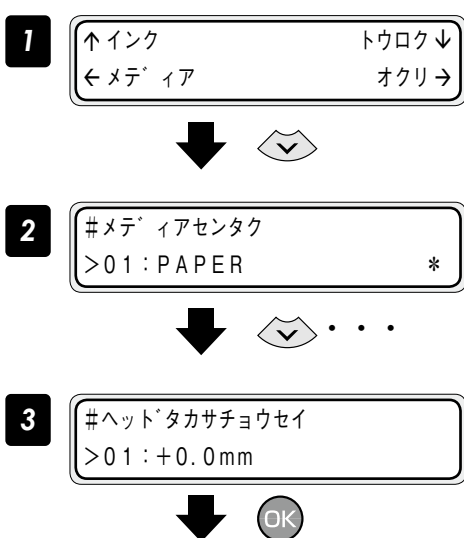
◆厚いメディアに印刷したい

■ プリントヘッドの高さを変える


プリントヘッドの高さは、電源投入時、およびメディアセット時に本機が自動的に最適な高さに調整します。しかしながら、メディアのコシの強さや温度に対する反応性によっては、さらに調整が必要になることがあります。その場合は、操作パネルからトウロクメニューを選択し、プリントヘッド高さを調節します。


⚠ 注意

- ◆ プリントヘッドの高さを調節した場合、プリントヘッドとメディアがこすれないように注意して下さい。プリントヘッドのこすれは、プリントヘッドの吐出不良を起こし、画質が悪化する原因となります。また、プリントヘッドの高さとメディアの間隔が開きすぎた場合も、画質が悪化しますので、本機が自動調整したプリントヘッドの高さでを使用することをお勧めします。



本機をオフラインにし、 キーを押す

 キーを数回押して、「#ヘッ ドタカサチョウセイ」を選択する

 キーを押す

4

#ヘッド*タカサチヨウセイ
*01: +0.0mm



#ヘッド*タカサチヨウセイ
*01: +0.1mm



#ヘッド*タカサチヨウセイ
>01: +0.1mm

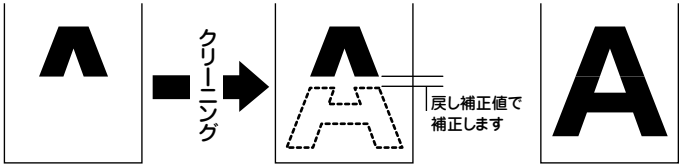
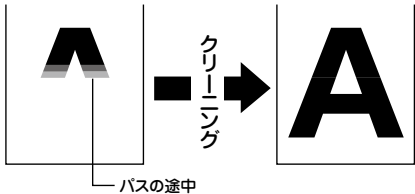
プリントヘッド高さの調整値を入力し、**OK** キーを押す

◀, ▶ キーで桁を合わせ、↵, ⇩ キーで数値を設定します。

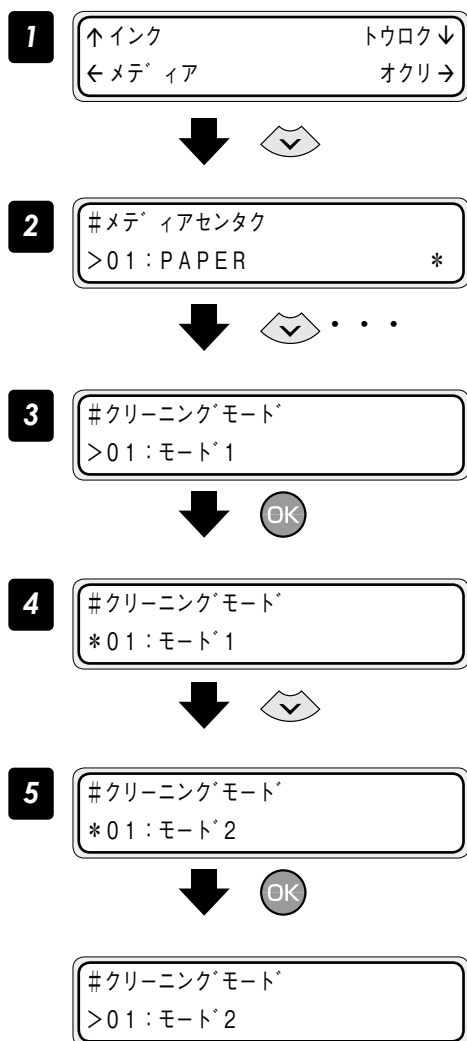
調整可能範囲は -0.3 ~ +1.0mm です。

◆自動クリーニングのタイミングを変えたい

プリントヘッドの状態を保つために、プリンタが自動で実行するクリーニングのモードを登録されているメディアアごとに変更することができます。メディアの特性に合わせてモードを選択してください。

モード1	過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷終了時に自動クリーニングが行われます。
モード2	<p>印刷の途中でクリーニングを実行します。このモードでは、プリンタは、実行中のバンドの印刷を完了させてからクリーニングを行います。</p> <p>塩ビのような、ヒータ温度の影響を受けやすいメディアを使用する場合に選択してください。クリーニング後、プリンタは、中断していた印刷の残りを開始します。</p> <p>メディアによっては、クリーニング前と後の印刷のつなぎ目が合いにくい場合があります。その場合には、モード1またはモード3をご使用ください。</p> 
モード3	<p>印刷の途中でクリーニングを実行します。このモードでは、プリンタは、実行中のバンドの印刷を中断してクリーニングを行います。</p> <p>ターポリンのような、ヒータ温度の影響を受けにくいメディアを使用する場合に選択してください。</p> <p>クリーニング後、プリンタは、中断していた印刷の残りを開始します。</p> <p>モード2よりもクリーニング前と後の印刷のつなぎ目が合いやすくなります。しかしながら、つなぎ目前後で色合いが変わる可能性があります。</p> 

ここでは、メディア番号1に登録されているメディアのクリーニングを「モード2」にする方法を例にして説明します。



本機をオフラインにし、 キーを押す

キーを数回押して、「#クリーニングモード」を選択する

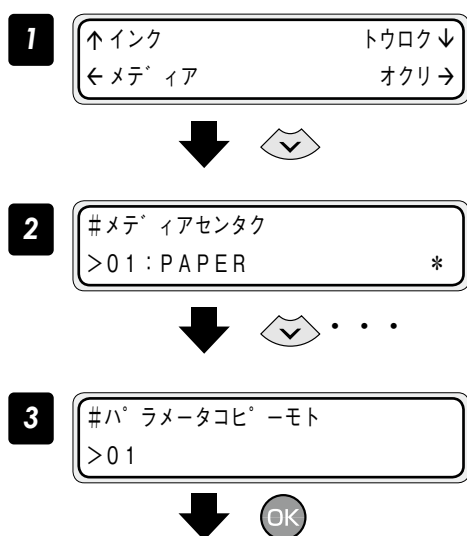
キーを押す

キーを押す

キーを押す

◆登録されているメディアをコピーしたい

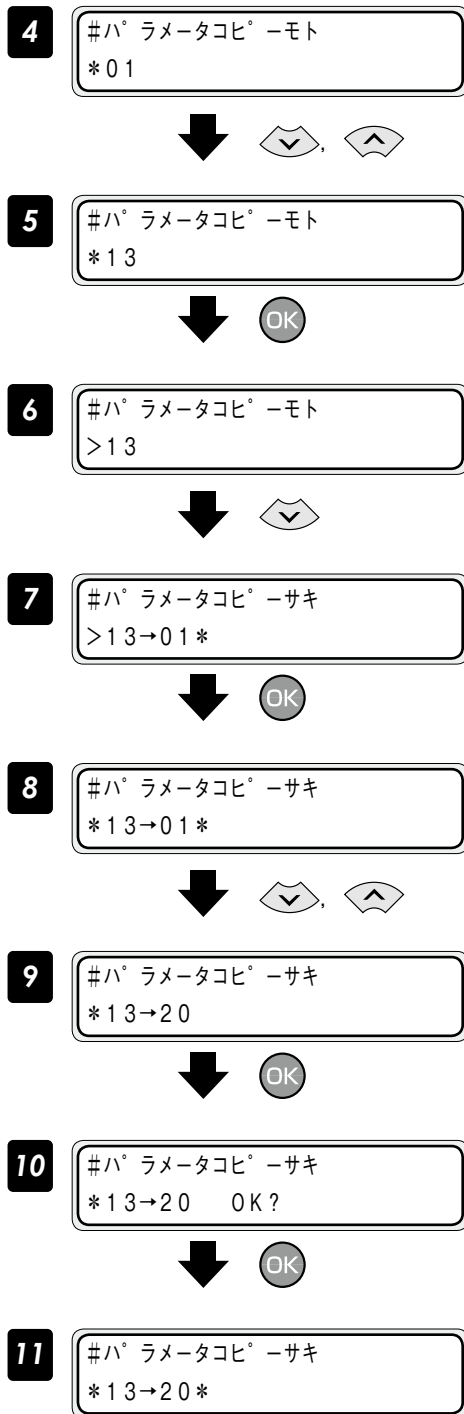
ここでは、メディア番号 13 番に登録されているパラメータをメディア番号 20 番にコピーする方法を一例にして説明します。





本機をオフラインにして、 キーを押す


キーを数回押して、「#パラメータコピーモード」を選択する

キーを押す





 ,  キーを押してコピー元を選択する
コピー元のメディアを選択します。コピー元番号は、
登録されている番号のみが表示されます。


 キーを押すと、**3** に戻ります。

 キーを押す

 キーを押すと、**3** に戻ります。


 キーを押す


 キーを押す

 ,  キーを押してコピー先を選択する

(コピー先番号は、01～20まで表示します)

コピー先が登録済みの場合、番号の後に*が表示され
ます。

 キーを押す

 キーを押す


コピー完了


◆メディアを送りたい／戻したい

■ オンライン状態（アイドルモード）でメディアを送る／戻す



 キーまたは  キーを押し続ける

メディアを送りたい場合は、 キーを押します。

メディアを戻したい場合は、 キーを押します。

(シートメディアを使用の場合は、排紙されます。)

2 キーを押した場合

フィード チュウ

キーを押した場合

バックフィード チュウ





 または  から手を離す

プリント キマス
ロール: 1625/PAPER

キーまたは キーから手を離す



メディアの送り/戻しが止まり、オンライン状態（アイドルモード）表示に戻ります。

■ オフラインにしてメディアを送る/戻す

1  インク トウロク 
← メディア オクリ →



M E N U

2  バックフィード フィード 
← クリーニング サービス →



 または  を押し続ける

3 キーを押した場合

フィード チュウ

キーを押した場合

バックフィード チュウ





 または  から手を離す

バックフィード フィード
← クリーニング サービス →

本機をオフラインにして、**M E N U** キーを押す

キーまたは キーを押し続ける

メディアを送りたい場合は、 キーを押します。
メディアを戻したい場合は、 キーを押します。
（シートメディアを使用の場合は、排紙されます。）

キーまたは キーから手を離す

メディアの送り/戻しが止まり、オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

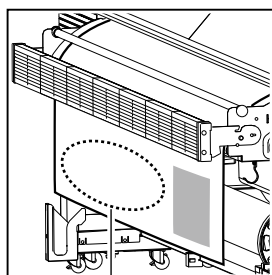
注意

- ◆ 給紙装置は、長いバックフィードには対応していません。長い距離をバックフィードさせる時は、供給側のメディアのたるみ位置が徐々に下降するようにしてください。たるみが下がり過ぎるとエラーが発生しますので注意してください。また、巻き取り装置はバックフィードに対応していません。巻き取り装置を使用の際は、バックフィードを行わないでください。

◆印刷の書き出し位置を移動させたい

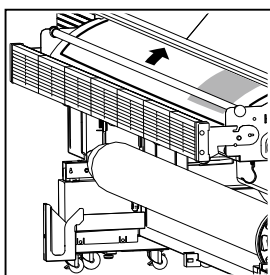
一度印刷したメディアを巻き戻し、印刷の開始原点を設定し直して余白部分に印刷することによって、余白部分を有効に活用することができます。

(1回目の印刷)

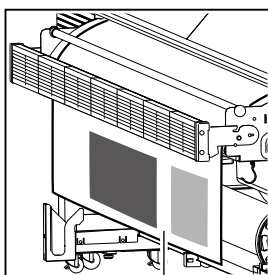


余白部分

(メディアの戻し)



(2回目の印刷)



ベース (印刷の開始原点)
に設定

! 注意

- ◆ この作業はできるだけ短時間で行ってください。短時間で行えなかった場合は、プリントヘッドが乾燥し、吐出不良を起こす可能性があるため、クリーニングを行ってください。

1

バックフィード チュー



メディアを戻す

(34 ページの「◆メディアを送りたい／戻したい」)

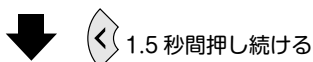
! 注意

- ◆ メディアを戻す際は、印刷済みの画像イメージが十分に乾いた状態で行ってください。
乾燥が不十分な状態で本機能を使用すると、1 回目の印刷画像イメージが損なわれる場合があります。

2

プリント キマス

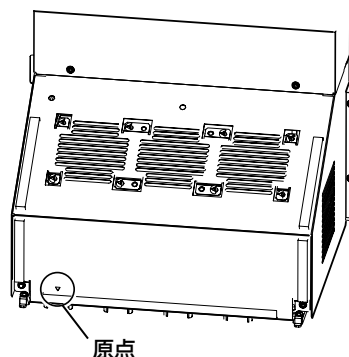
ロール: 1625/PAPER



1.5 秒間押し続ける

キーを 1.5 秒押し続ける

キャリッジが移動し、ベース設定可能状態になります。
キャリッジカバー前面左下の「ママーク」を原点にする位置に合わせてください。



原点

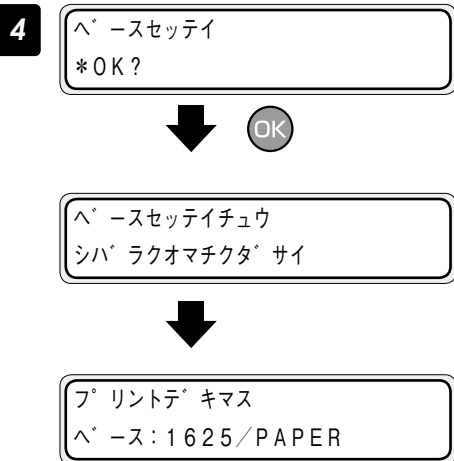
3

ベースセッテ

キャリッジ イト ウチュウ




キーを押して、原点に設定したい位置までキャリッジを移動させる



OK キーを押してベース設定を確定する

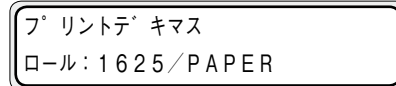
キャリッジが戻り、印刷可能状態（オンライン状態（アイドルモード）表示）になります。

設定した原点を解除するには、アイドルモードで  キーを 1.5 秒押し続けます。

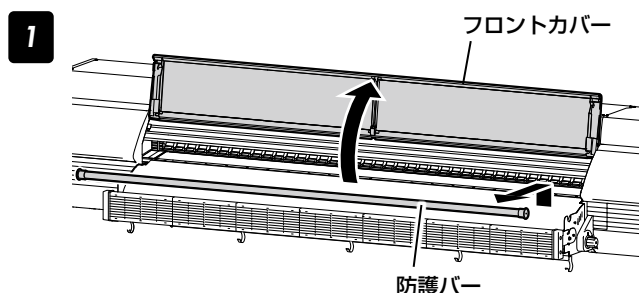
または、加圧操作ノブを上げると解除します。

解除すると、「ベース」から「ロール」表示に戻ります。

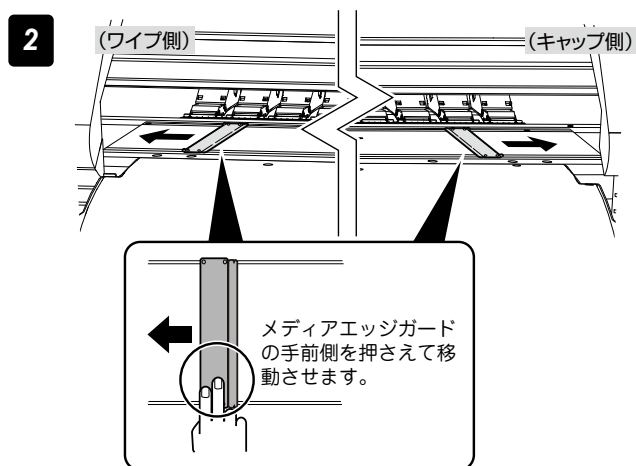
<解除した場合の表示>



◆シート（カット）メディアに印刷したい

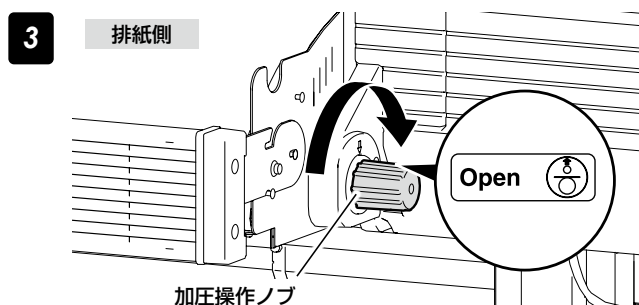


防護バーを取り外し、フロントカバーを開ける



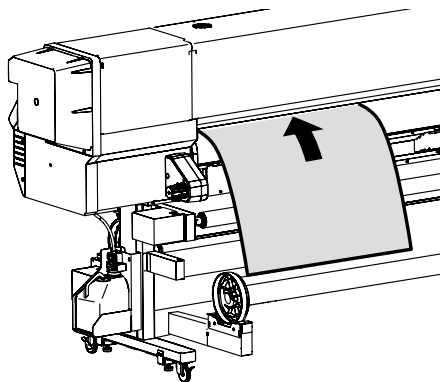
メディアエッジガードを両サイドに移動させておく

メディアエッジガードがメディアの下にならないようによけておきます。メディアエッジガードの手前側を押さえて移動させてください。



加圧操作ノブを回して、「Open」に合わせる

4

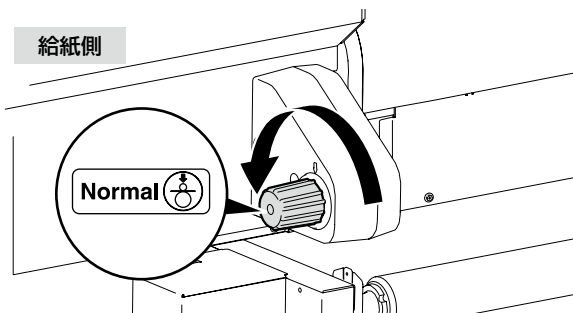


メディアの先端を給紙部に挿入する

給紙センサがかかるように、シートメディアを給紙部に差し込みます。

5

給紙側



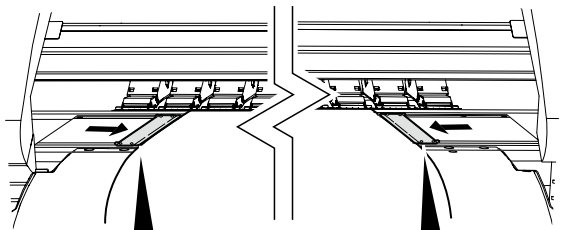
加圧操作ノブを回して、「Normal」に合わせる



再度確認してください

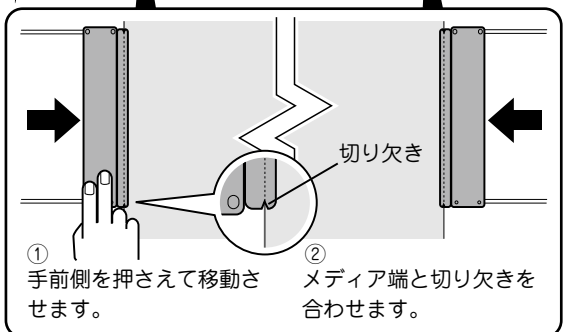
◆ プラテン上のメディアに浮きやシワがないか確認してください。

6



メディアエッジガードをセットする

- ① メディアエッジガードの手前側を押さえながら移動させます。
- ② メディア端とメディアエッジガードの切り欠きを合わせます。

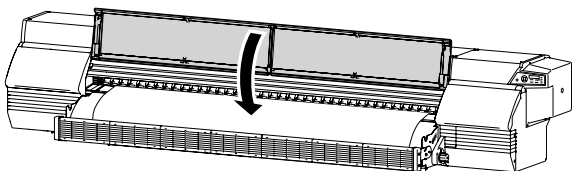


メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいたり、厚いメディアを無理に差し込んで引っかかったりしていないか確認します。

⚠ 注意

◆ メディアエッジガードを使用しないと、メディアジャムが起こる場合があります。

7



フロントカバーを閉めて、防護バーを取り付ける

8

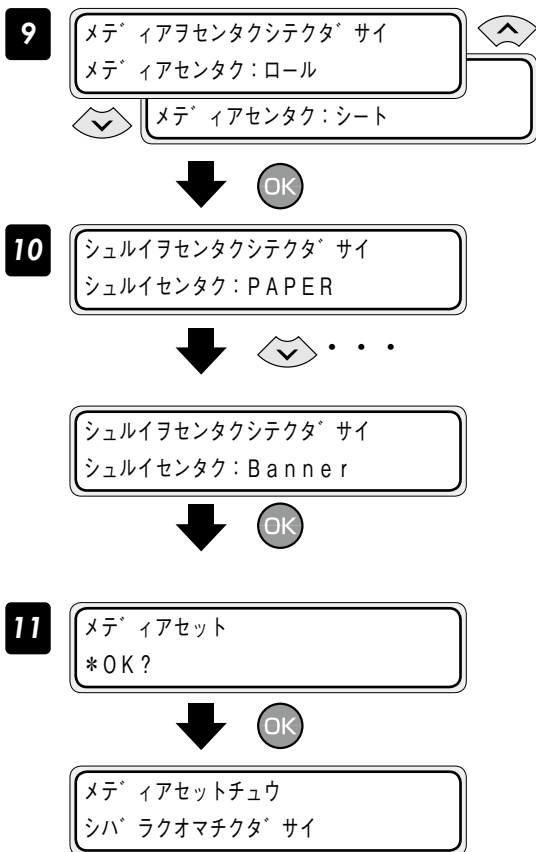
エッジガードのカクニン
*OK?



OK

OK

キーを押す



「シート」を選択し、OK キーを押す

メディアの種類を選択し、OK キーを押す

⬆ キー，⬇ キーで登録されているメディアの種類を選択します。

ここでは「ターポリン」を例にして説明します。

OK キーを押す

プリンタの設定をする

◆警告音を鳴らさないようにしたい

日常メンテナンスやヘッド高さ調整でプリントヘッドがキャップから外れた状態や、印刷中のメディアジャムエラー等でプリントヘッドがキャップできない状態時に警告音を消すことができます。

- ↑ インクトウロク ↓

← メデ ィ アオクリ →

↓ MENU x2

本機をオフラインにして、MENU キーを2回押す
 - ↑ ファンクションシステム ↓

← メカチョウセイヒータ →

↓ ✓

✓ キーを押す
 - # LANGUAGE

> JAPANESE

↓ ✓ . . .

✓ キーを数回押して、「# ケイコク オン (キャップオープン)」を選択する
 - # ケイコク オン (キャップオープン)

> オン

↓ OK

OK キーを押す
 - # ケイコク オン (キャップオープン)

* オン

↓ ✓

✓ キーを押す
 - # ケイコク オン (キャップオープン)

* オフ

↓ OK

OK キーを押す
- # ケイコク オン (キャップオープン)

> オフ

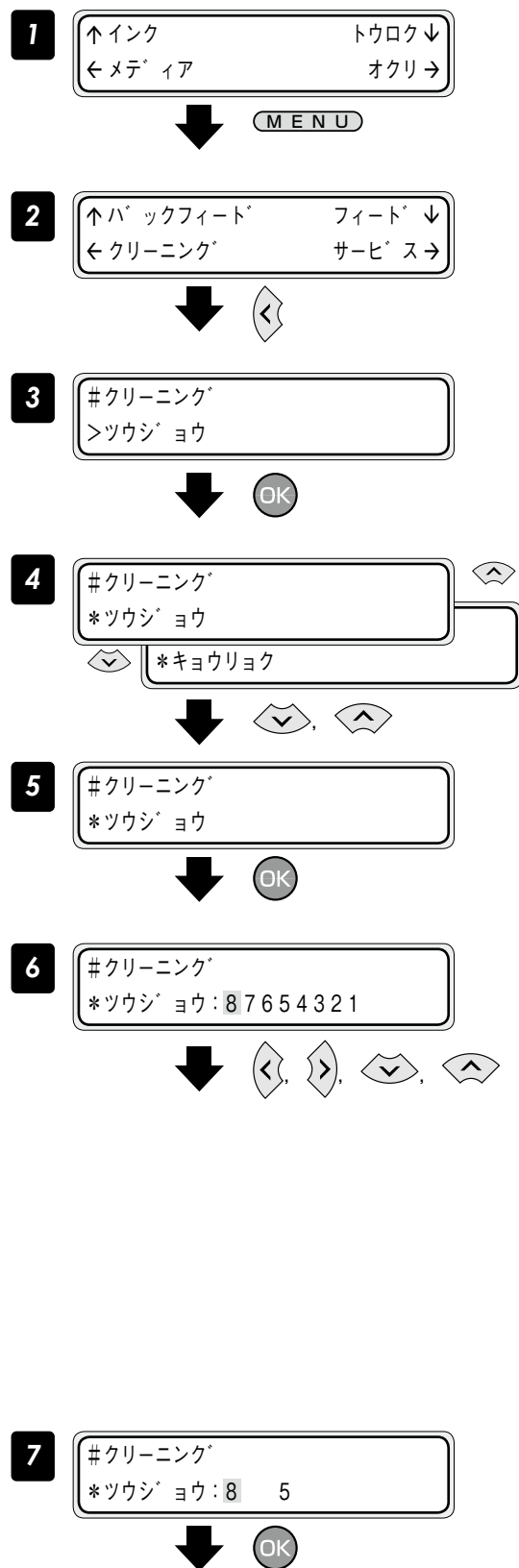
◆システム F/W をアップデートする

本機の機能向上のため、システム F/W のアップデートをすることが可能です。

システム F/W のアップデートをするときは、システム F/W に添付の資料にしたがってアップデートを行ってください。

クリーニングオプション

◆プリントヘッドを選んでクリーニングしたい



本機をオフラインにして、MENU キーを押す

← キーを押す

OK キーを押す

↑, ↓ キーでクリーニング選択オプションを選ぶ

OK キーを押す

クリーニングするプリントヘッドを選ぶ

- ① ←, → キーでプリントヘッド番号を選択します。
- ② ↑, ↓ キーで番号を表示または非表示にします。クリーニングしたいプリントヘッド番号を表示させてください。

8色機モード

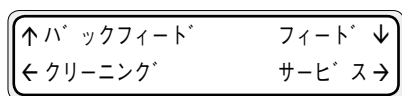
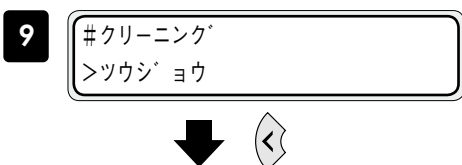
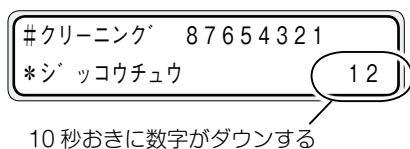
Lg8	Y1
M7	Lm2
Lc6	C3
K5	Gy4

4色機モード

Y8	Y1
M7	M2
C6	C3
K5	K4

OK キーを押す

左の例は、8 番プリントヘッドと 5 番プリントヘッドをクリーニングします。



OK キーを押す

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。

クリーニング開始

クリーニング動作は数分かかります。

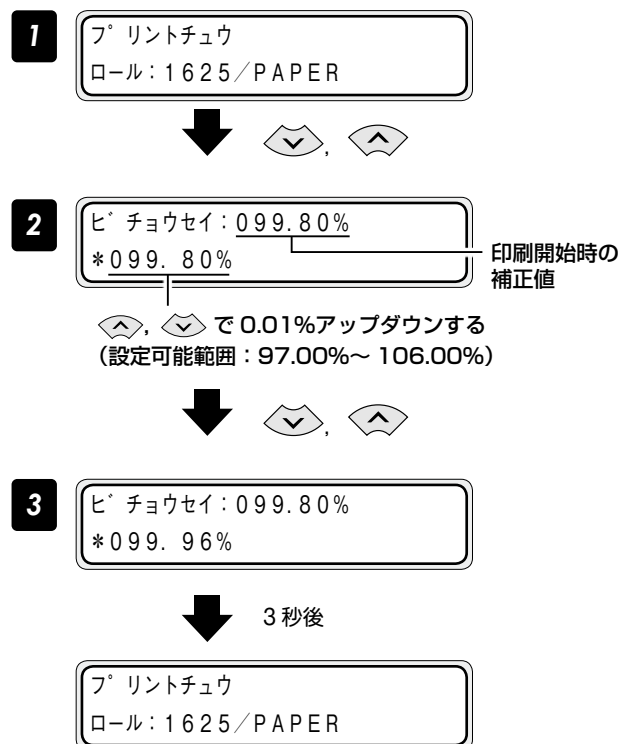
クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。



< キーを押す



オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

メディア送り補正值の管理

◆印刷中にメディア送り補正值を変更する



「プリントチュウ」表示中に、 キーまたは  キーを押す

 ,  キーで補正值を変更する

補正值を変更した時点で印刷に反映されます。

印刷開始時の補正值の表示は、印刷終了時まで変わりません。ただし、クリーニングモードを「モード2」に設定している場合は、クリーニング後に表示が変わります。

変更した値は登録され、以降も保持されます。

3 秒間キー操作がない場合、元の表示に戻ります。

印刷モードについて

本機には、6種類の印刷モードがあります。メディアの種類や生産性、画質に合わせてお選びください。



通常は「ヒョウジュン 1」で

◆ 推奨の印刷モードは、「ヒョウジュン 1」です。
他のモードは生産性や画質を重視する場合にお
使いください。

印刷モード名称	特 徴	説 明	印刷速度 (注 1)	最大濃度 (注 2)	印刷解像度	パス数
ドラフト 1	最速モード	生産性を重視した印刷モード です。 入力データがラフになる分、 PC の処理時間が短縮できま す。	★★★★★ IP-7900 50m ² /h (100m ² /h) IP-7700 50m ² /h (100m ² /h)	●●○○○	720 x 360	4
ファインドラフト 1	速度と画質のバランス型	生産性と画質をバランスさせ た印刷モードです。 標準モードより若干粗く印刷 することで、速度を上げます。	★★★☆☆ IP-7900 39m ² /h (78m ² /h) IP-7700 36m ² /h (72m ² /h)	●●○○○	540 x 540	6
ヒョウジュン 1 (標準 1)	標準モード (通常使用モード)	標準の印刷モードです。 通常はこのモードで使用して ください。画質は高解像度で 処理されます。	★★☆☆☆ IP-7900 30m ² /h (60m ² /h) IP-7700 27m ² /h (54m ² /h)	●●○○○	720 x 720	8
ヒョウジュン 2 (標準 2)	速度より、ベタ濃度重視 かすれやすいメディア向け	かすれやすいメディアに向い た印刷モードです。 ベタ部分でかすれが気になる 場合に使用してください。	★★☆☆☆ IP-7900 20m ² /h (40m ² /h) IP-7700 18m ² /h (36m ² /h)	●●●○○	720 x 900	10
コウヒンイ (高品位)	速度より、画質重視	「標準」で乾燥性が悪いメディ アを使用している場合、もし くは印刷のムラが気になる場 合に使用してください。 ゆっくり印刷することで、き れいに仕上がります。	★☆☆☆☆ IP-7900 13m ² /h (26m ² /h) IP-7700 12m ² /h (24m ² /h)	●●○○○	720 x 720	16
コウノウド (高濃度 2)	電飾用途向け、 速度より画質重視	透過系のメディア (FF、透明 塩ビ、乳白塩ビ等) および濃 度を必要とする印刷の場合に 有効な印刷モードです。	★☆☆☆☆ IP-7900 13m ² /h (26m ² /h) IP-7700 12m ² /h (24m ² /h)	●●●●○	720 x 720	16

() カッコ内は 4 色機の場合

(注 1)

- ・ 印刷速度の数値は、2642mm (104 インチ) 幅 (IP-7700 は 1900mm (74 インチ) 幅) のロールに全幅でプリントした場合の速度を、
8 色機の数値 (4 色機の数値) という形式で記載しています。
- ・ 「ガンツモード」が「オフ」の場合の数値です。

(注 2)

ここに記した「最大濃度」は、本機が最大限発揮できる濃さの目安です。

実際のプリントでは、RIP (プロファイル) による色作りによって濃さが決まります。

高濃度モード (電飾用途) 以外のモードでは通常、

・ 写真などの画像部分では、どのモードも同じ濃度でプリントされます。

・ ベタ部では、RIP の設定により、モードごとに濃度が異なる場合があります。

高濃度モード (電飾用途) では通常、プリント全体が濃い目にプリントされます。

こんな症状が出たら

ここでは、お客様が本機を使って、より良い画質を得るためのヒントを説明します。印刷物の症状に従って対処してください。

1 症状に対して複数の対処方法が記載してある場合、効果が大きいと予想される方法から順に記載しています。1 番目から優先に行い、改善効果を確認する事を推奨します。（記載してある全ての対処方法を実行しなければ改善しないという事ではありません。）

◆印刷が薄い

原因	対処方法
● 使用環境が本機の仕様外である	室温を 15℃以上（推奨温度:20 ～ 25℃）にあげ、本機を十分に暖気してください。
● メディアの選択が合っていない	メディアの選択を確認してください。（ 基本操作ガイド 52 ページ ）

◆印刷開始時に印刷抜けが発生する

原因	対処方法
● 使用温湿度範囲外	使用温湿度範囲内で使用してください。（ 基本操作ガイド 17 ページ ）
● ノズル面が通過する経路上にゴミが付着している	プラテン上、メディアエッジガード、スピットケース、キャッピングユニット、ワイパーブレードの順に確認し、ゴミ・汚れ等を取り除いてください。 メディアのほつれた糸クズがプリントヘッドにこずれて印刷抜けが起こることがあります。糸クズのないメディアに交換してください。 排気ファンフィルタが目詰まりしていないか確認してください。目詰まりしていたら交換してください。（ 基本操作ガイド 17 ページ ）

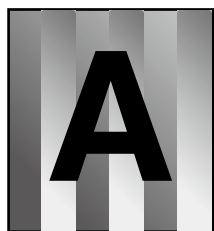
◆メディアにシワ・カールが発生する

原因	対処方法
● 使用温湿度範囲外	① 使用温湿度範囲内で使用してください。 ※ メディアによっては、使用温湿度範囲内でもシワが発生します。 ② 実績のあるメディアを使用してください。
● メディアが環境に馴染んでいない	メディアの保管環境とプリンタの使用環境が異なる場合は十分馴染ませてください。 ※ 馴染ませる時間は、メディアの種類や保管環境により異なります。
● メディアのセット不良	以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタ本体 / フランジに対してメディアが垂直にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
● ヒータの熱によるシワ	① ヒータ加熱中にシワが入る場合、ヒータ加熱を事前に行ってからメディアをセットしてください。 ② ヒータ温度を変更してください。3ヒータとも一律に 5℃刻みで上下させてください。 ^(注1) ③ 実績のあるメディアを使用してください。
● メディアのカール	① メディアの縦方向 (X 方向) にカールが発生するメディアは使用しないでください。 ② メディアの左右端 (Y 方向) のカールが発生し、メディアエッジガードと吸着ファンで抑えきれないメディアは使用しないでください。 ③ 実績のあるメディアを使用してください。

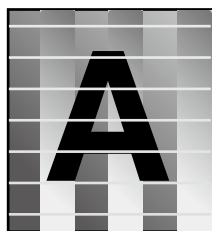
^(注1) メディア送り補正値の再調整が必要です。

◆印刷物に白スジが入る

【基本イメージ】



【症状A】



【原因】
メディア送り補正値が合っていない

【参考】
カラーストライプをつけると全色で白スジが発生



【症状B】



【原因】
プリントヘッドのノズル詰まり

【参考】
カラーストライプをつけると一部の色で白スジが発生



【症状C】



【原因】
メディアとの相性が悪い

原因

対処方法

【症状A】

- メディア送り補正値が合っていない

メディア送り補正値を合わせてください。

※巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。

【症状B】

- メディア送りの精度が悪い / 安定しない

① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。

- ・ プリンタ本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。
- ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
- ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。
- ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
- ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。

② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注1)

③ 画質モードを「モード1」、「モード2」、「モード3」または「モード4」にしてください。(注1),(注2)

④ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2)

【症状C】

- プリントヘッドのノズル詰まり

① プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。

② スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。

③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。

④ 日常メンテナンスを行ってください。

※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。

※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。

⑤ キャップC L ジュウテンを行ってください。

⑥ ヘッドクリーニングキット（[基本操作ガイド 106 ページ](#)）で、プリントヘッド面を清掃してください。

※ ヘッドクリーニングキット付属説明書を参照してください。

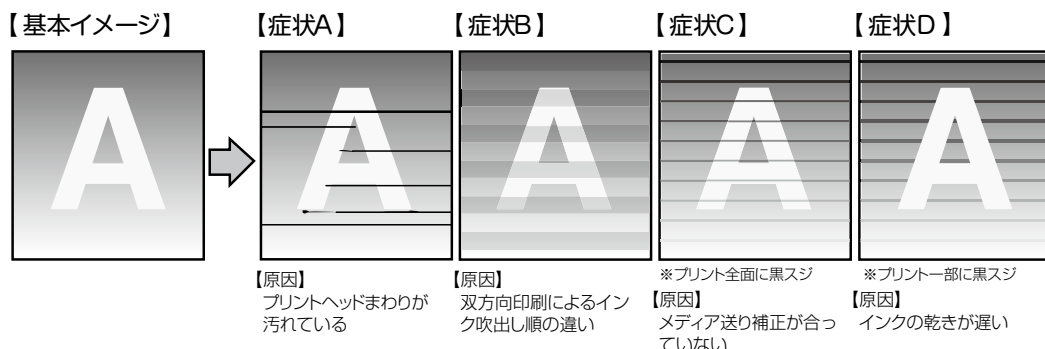
◇ カラーストライプをつけて印刷する事で印刷抜けが発生しにくくなります。（[29 ページ](#)）

- 【症状C】
- メディアとの相性が悪い
(ドットが広がりにくいメディア)
- ① ヒータ温度を下げてください。3ヒータとも一律5℃刻みで下げてください。^(注1)
※ 印刷する前にヒータ温度が変更した温度まで下がっていることを確認してください。
※ メディアによってはヒータ温度を上げて効果がある場合があります。
 - ② 画質モードを「モード2」、「モード3」または「モード4」にしてください。
(注1)、(注2)
 - ③ より遅い印刷モードに変更してください。^{(注1)、(注2)}
 - ④ 実績のあるメディアで印刷してください。

(注1) メディア送り補正値の再調整が必要です。

(注2) 印刷速度は変わります。

◆印刷物に黒スジが入る



原因	対処方法
<p>【症状A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プリントヘッドのまわりが汚れている 	<ol style="list-style-type: none"> ① プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ② スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。 ③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ⑤ キャップC Lジュウテンを行ってください。 ⑥ ヘッドクリーニングキット（基本操作ガイド 106 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。
<p>【症状B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 双方向印刷によるインク吹出し順の違い 	<ol style="list-style-type: none"> ① 画質モードを「モード2」、「モード3」または「モード4」にしてください。 (注1)、(注2) ② より遅い印刷モードに変更してください。^{(注1)、(注2)} ③ 片方向で印刷してください。^(注2) ④ 実績のあるメディアで印刷してください。
<p>【症状C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メディア送り補正値が合っていない 	<p>メディア送り補正値を合わせてください。</p> <p>※ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。</p>

【症状C】

- メディア送りの精度が悪い / 安定しない

- ① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。
 - ・ プリンタ本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。
 - ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
 - ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。
 - ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
 - ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。
- ② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注1)
- ③ 画質モードを「モード1」、「モード2」、「モード3」または「モード4」にしてください。(注1),(注2)
- ④ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2)

【症状D】

- インクの乾きが遅い
(モタリング (ブリーディング) が発生している)

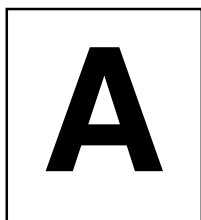
- ① ヒータ温度を上げてください。3ヒータとも一律5℃刻みで上げてください。
(注1)
※ プリントする前にヒータ温度が変更した温度まで上がっていることを確認してください。
- ② 画質モードを「モード1」、「モード2」、「モード3」または「モード4」にしてください。(注1),(注2)
- ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2)
- ④ 片方向で印刷してください。
- ⑤ 実績のあるメディアで印刷してください。
- ⑥ RIPのプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用する。
※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。

(注1) メディア送り補正値の再調整が必要です。

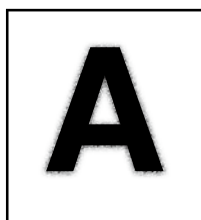
(注2) 印刷速度は変わります。

◆印刷物に汚れが入る

【基本イメージ】

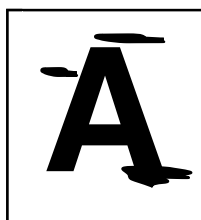


【症状A】



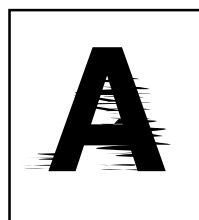
【原因】
インクのしぼき

【症状B】



【原因】
インクのボタ落ち

【症状C】



【原因】
プリントヘッドのこすれ

原因

対処方法

【症状A】

● インクのしぼき

- ① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。
- ② 「ヘッドタカサチョウセイ」の値を確認して、0 より大きい場合は0 にしてください。(注3)
- ③ 日常メンテナンスを行ってください。
※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。
- ④ クリーニング(キョウリョク)を行ってください。
- ⑤ 画質モードを「モード4」にしてください。(注2)
※ オウフクチョウセイ1の調整が必要です。
- ⑥ より速い印刷モードに変更してください。(注1),(注2)
- ⑦ キャップC L ジュウテンを行ってください。
- ⑧ ヘッドクリーニングキット (□基本操作ガイド 106 ページ) で、プリントヘッド面を清掃してください。
※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。
- ⑨ 「ヘッドタカサチョウセイ」の値を下げて、ヘッド高さを下げてください。(注3)
※ ヘッド高さは下げ過ぎないでください。メディアジャムが起りやすくなります。


【症状B】

● インクのボタ落ち

- ① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。
- ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。
- ③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。
- ④ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。
- ⑤ 日常メンテナンスを行ってください。
※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。
※ クリーニング(ツウジョウ)も忘れずに行ってください。
- ⑥ キャップC L ジュウテンを行ってください。
- ⑦ ヘッドクリーニングキット (□基本操作ガイド 106 ページ) で、プリントヘッド面を清掃してください。
※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。
- ⑧ 静電気が発生しやすいメディアもあります。その場合、静電気によって、ノズル面に付着しているインク滴がインクのボタ落ちの原因となります。
- ⑨ ターポリン系のメディアでは、ほつれた糸クズがプリントヘッドにこすれてインクが垂れることがあります。

【症状C】

● プリントヘッドのこすれ

- ① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。
 - ・ プリンタ本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。
 - ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
 - ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。
 - ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
 - ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。
- ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸くずや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。
- ③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。
- ④ 日常メンテナンスを行ってください。
 - ※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。
 - ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。
- ⑤ キャップC L ジュウテンを行ってください。
- ⑥ ヘッドクリーニングキット（基本操作ガイド 106 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。
 - ※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。

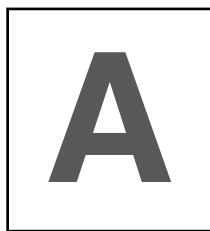
（注 1） メディア送り補正値の再調整が必要です。

（注 2） 印刷速度は変わります。

（注 3） 往復補正値の再調整が必要です。

◆印刷物にニジミが入る

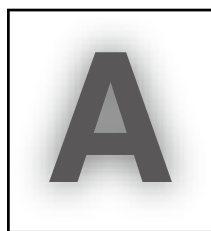
【基本イメージ】



基本イメージ

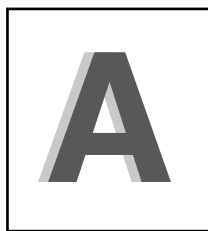


【症状A】



【原因】
インクの乾きが遅い/
インク量が多い

【症状B】



【原因】
プリントヘッド位置のずれ
／プリントヘッド往復位置
のずれ

【症状C】



【原因】
メディア送り補正が合っ
ていない

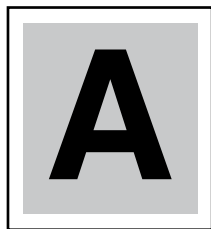
原因	対処方法
【症状A】 ● インクの乾きが遅い / インク量が多い	① ヒータ温度を上げてください。3ヒータとも一律5℃刻みで上げてください。 ^(注1) ※ プリントする前にヒータ温度が上がっていることを確認してください。 ② 画質モード2、3又は4にしてください。 ^{(注1), (注2)} ③ より遅い印刷モードに変更してください。 ^{(注1), (注2)} ④ 片方向で印刷してください。 ⑤ 今までに実績のあるメディアで印刷してください。 ⑥ RIPのプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用してください。 ※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。
【症状B】 ● プリントヘッド位置のずれ / プリントヘッド往復位置のずれ	① プリントヘッドの位置調整を行ってください。(📖 78 ページ) ② プリントヘッドの往復調整を行ってください。(📖 82 ページ)
【症状C】 ● メディア送り補正値が合っていない	メディア送り補正値を合わせてください。 ※ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。
【症状C】 ● メディア送りの精度が悪い / 安定しない	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンタ本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。 ^(注1) ③ 画質モードを「モード1」、「モード2」、「モード3」または「モード4」にしてください。 ^{(注1), (注2)} ④ より遅い印刷モードに変更してください。 ^{(注1), (注2)}

^(注1) メディア送り補正値の再調整が必要です。

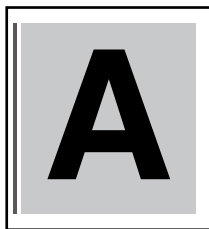
^(注2) 印刷速度は変わります。

◆印刷物の端に縦スジが入る

【基本イメージ】



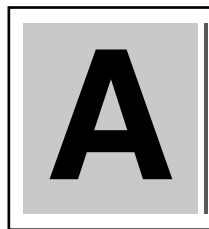
【症状A】



【原因】

プラテン上、メディアの左端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

【症状B】



【原因】

プラテン上、メディアの右端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

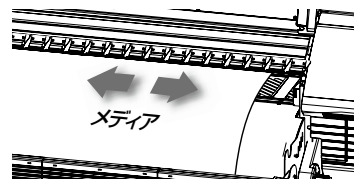
原因

対処方法

【症状A】【症状B】

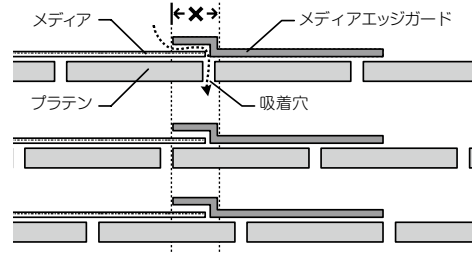
- プラテン上、メディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある場合、メディアエッジガードとメディアの間から吐出インクの一部を吸い込み、縦スジが発生する場合がある。

プラテン上のメディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍に位置しないように、メディアをずらしてください。

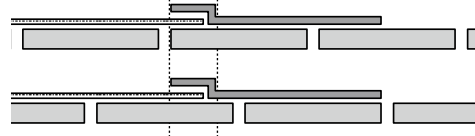


※この範囲内に吸着穴が位置しないようにしてください。

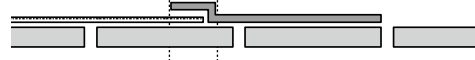
縦スジが発生する場合のメディア位置の一例



縦スジが発生した場合に、メディアの位置をずらす例 (1)

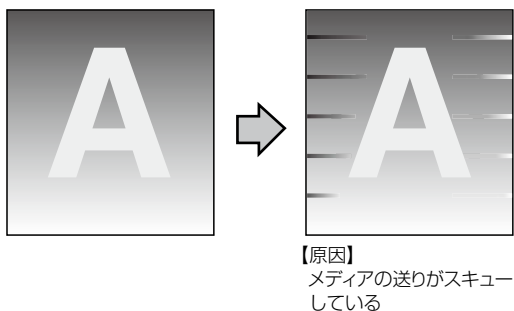


縦スジが発生した場合に、メディアの位置をずらす例 (2)



◆印刷物の左右で異なるスジが入る

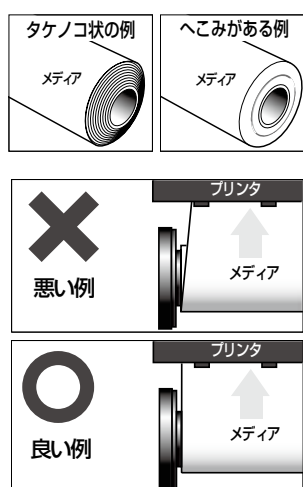
【基本イメージ】



原因

対処方法

● メディアの送りがスキューしている



- ① タケノコ状、へこみがないか、ロール仕立てを確認し、ロール仕立てが悪ければ、仕立ての良いロールと交換してください。
- ② 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。
 - ・ プリンタ本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。
 - ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
 - ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。
 - ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
 - ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。
- ③ 巻き取り側で巻きムラが発生していないか確認し、メディアの再セットと巻き取り装置への再セットを実施してください。
- ④ 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。^(注1)
- ⑤ テンションバーの長さを変えてください。^(注1)
- ⑥ 実績のあるメディアを使用してください

^(注1) メディア送り補正値の再調整が必要です。

印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる

日常メンテナンスを実施しても印刷抜けが発生する場合は、以下の作業を実施してください。

強力クリーニング

ツウジョウ（通常）クリーニングでも印刷抜けが回復しない場合に実施します。



「ノズルプリント」
印刷抜けのチェック

フィルキャップ

キャップ内にインクを充填してプリントヘッド（ノズル面）をインクで浸し、ノズル詰まりを解消させるために実施します。実施後、1～2時間プリンタを放置します。



「ノズルプリント」
印刷抜けのチェック

キャップCL充填

キャップ内にワイプクリーニング液を充填してプリントヘッド（ノズル面）をワイプクリーニング液で浸し、ノズル詰まりを解消させるために実施します。実施後、一晚（12時間～18時間程度）本機を放置します。



「ノズルプリント」
印刷抜けのチェック

ヘッドクリーニングキットによるクリーニング

ヘッドクリーニングキットに添付してある説明書にしたがって、ヘッドを洗浄してください。（通常は2ヶ月に1回を目安に実施します。）

◆強力クリーニング

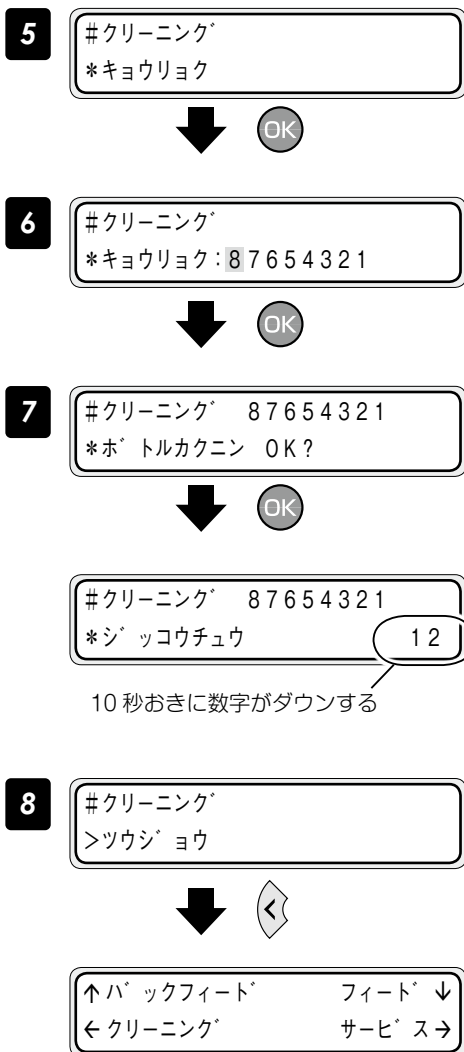


本機をオフラインにして、MENU キーを押す

◀ キーを押す

OK キーを押す

▶ キーを押す



キーを押す

キーを押す

キーを押す

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。

クリーニング開始

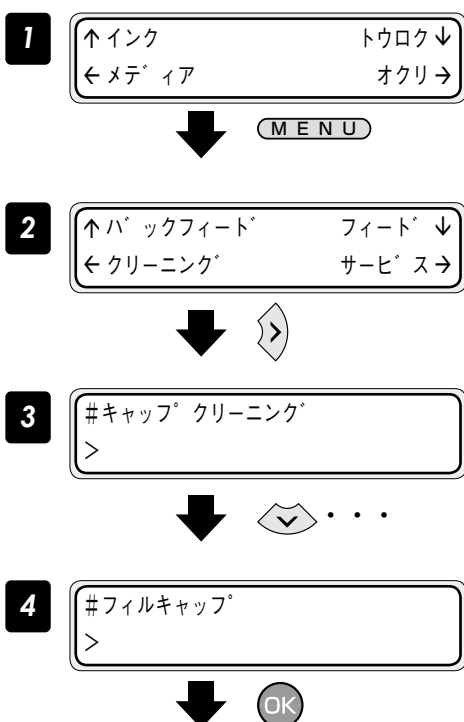
クリーニング動作は数分かかります。

クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。

キーを押す

オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

◆フィルキャップ

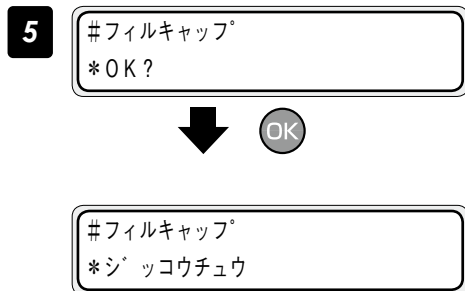



本機をオフラインにして、 キーを押す

キーを押す

キーを数回押して、「#フィルキャップ」を選択する

キーを押す

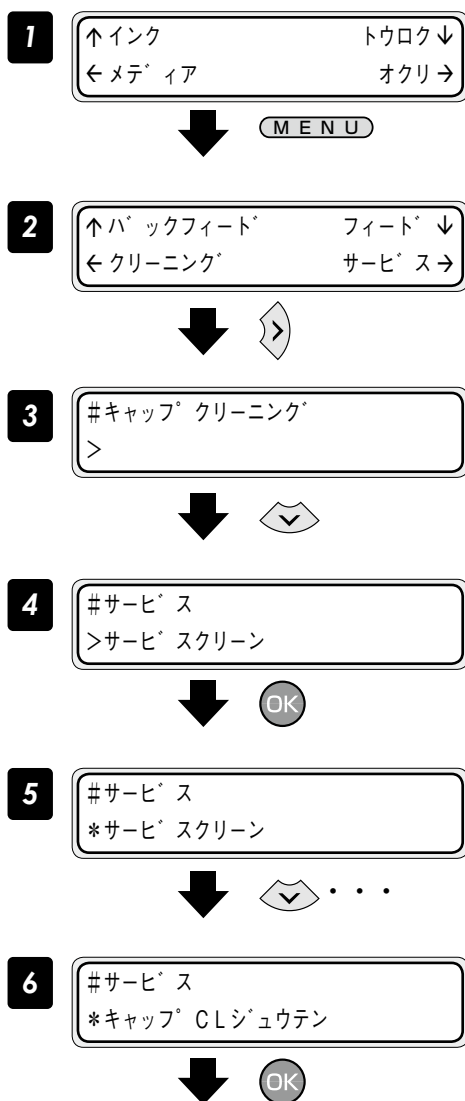



 キーを押す


1～2時間放置する


放置した後、印刷をする前にツウジョウクリーニングを実施してください。


◆キャップCL 充填





本機をオフラインにして、 キーを押す

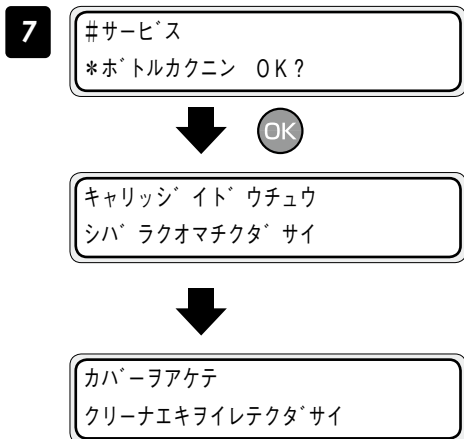
 キーを押す

 キーを押して、「#サービス」を選択する

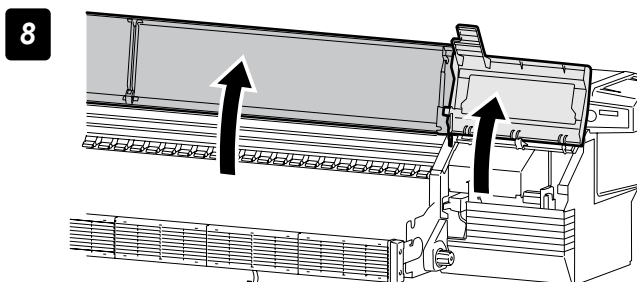
 キーを押す

 キーを数回押して、「*キャップCLジュウテン」を選択する

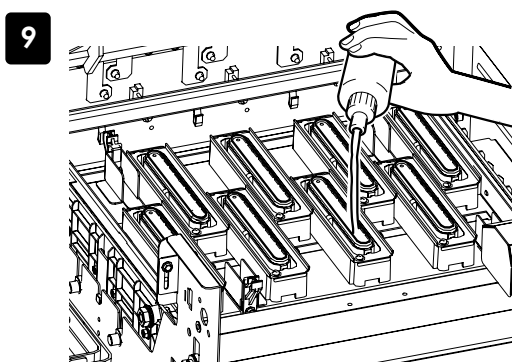
 キーを押す



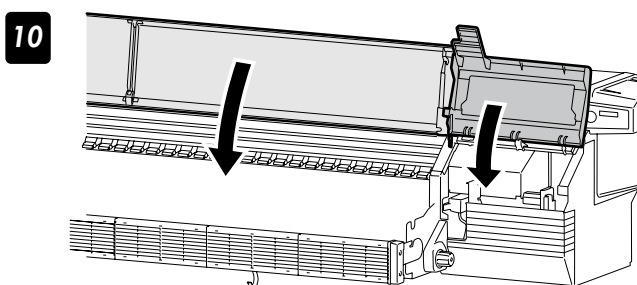
OK キーを押す



フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける



キャップにワイプクリーニング液を垂らす



キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉める

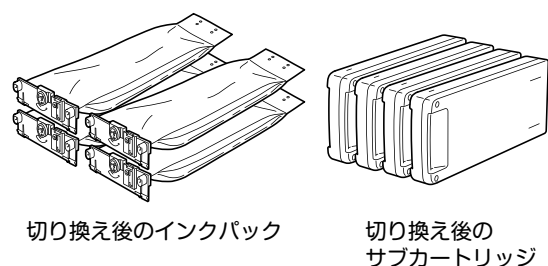
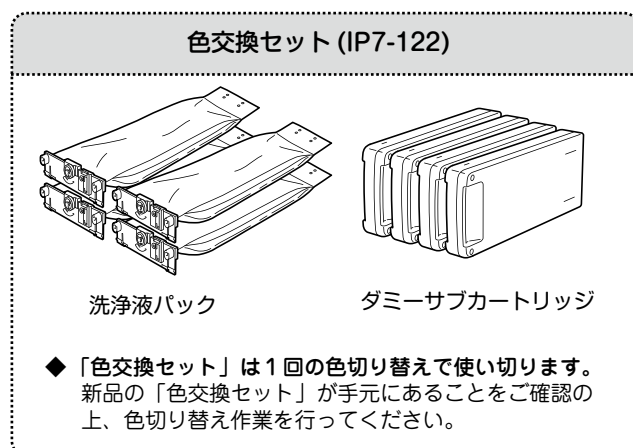
自動的にキャリッジが元の位置に戻ります。

11 一晩（12 時間～18 時間）放置する

放置した後、印刷をする前にツウジョウクリーニングを実施してください。

色切り換え (8 色→ 4 色、4 色→ 8 色) をする

■ **必要なもの** 作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。

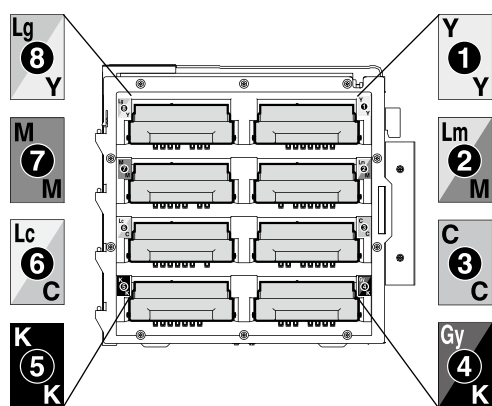


8 色→4 色の場合：
Y、M、C、K のインクパックとサブカートリッジ
4 色→8 色の場合：
Lm、Gy、Lc、Lgy のインクパックとサブカートリッジ

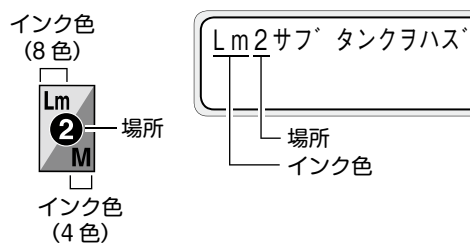
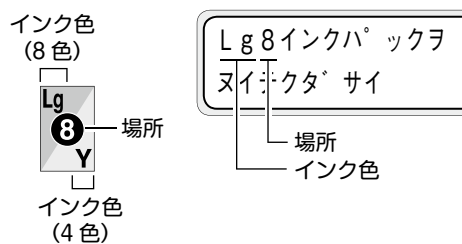
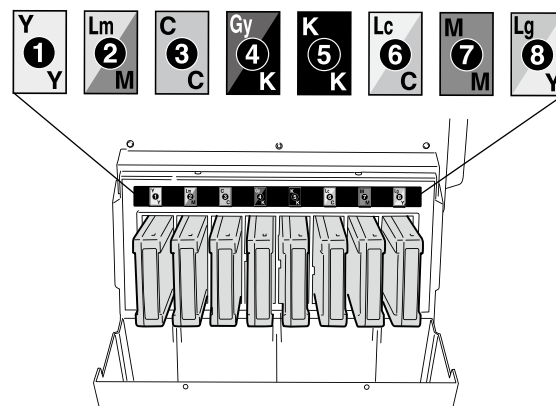
■ インクスロットの場所

インクパック（トレイ）とサブカートリッジは、それぞれ決められた場所にセットしてください。

インクトレイ

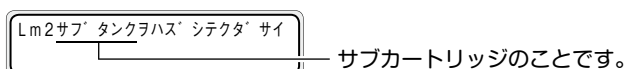
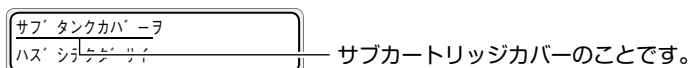


サブカートリッジ



■ ご注意

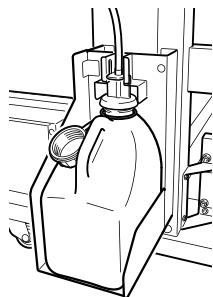
◆ LCD 上ではサブカートリッジ（カバー）のことをサブタンク（カバー）と表示します。



◆ 別売のインクトレイに予め洗浄液パックをセットしておくと、作業をスムーズに行うことができます。

■ 作業の流れ

Step1 廃インクボトルを空にする



Step2 サブカートリッジを抜いて、ダミーサブカートリッジをセットする

8色 → 4色

サブカートリッジ							
Y	Lm	C	Gy	K	Lc	M	Lg
1	2	3	4	5	6	7	8

4色 → 8色

サブカートリッジ							
Y	M	C	K	K	C	M	Y
1	2	3	4	5	6	7	8

サブカートリッジ							
Y	ダミー	C	ダミー	K	ダミー	M	ダミー
1		3		5		7	

Step3 インクトレイを抜いて、洗浄を2回行う

8色 → 4色

インクトレイ			
Lg 8	Y 1		
M 7	Lm 2		
Lc 6	C 3		
K 5	Gy 4		

4色 → 8色

インクトレイ			
Y 8	Y 1		
M 7	M 2		
C 6	C 3		
K 5	K 4		

インクトレイ			
空	Y 1		
M 7	空		
空	C 3		
K 5	空		

ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?



ヌキトリチュウ
シハ' ラクオマチクタ' サイ 12

インクトレイ			
洗浄液	Y 1		
洗浄液	M 7		
洗浄液	C 3		
洗浄液	K 5		

ジュウテンスタート
*ホトルカクニン OK?



ジュウテンチュウ
シハ' ラクオマチクタ' サイ 12

インクトレイ			
空	Y 1		
M 7	空		
空	C 3		
K 5	空		

ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?



ヌキトリチュウ
シハ' ラクオマチクタ' サイ 12

インクトレイ			
洗浄液	Y 1		
洗浄液	M 7		
洗浄液	C 3		
洗浄液	K 5		

ジュウテンスタート
*ホトルカクニン OK?



ジュウテンチュウ
シハ' ラクオマチクタ' サイ 12

インクトレイ			
空	Y 1		
M 7	空		
空	C 3		
K 5	空		

ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?



ヌキトリチュウ
シハ' ラクオマチクタ' サイ 12

Step4 切り換え後のインクパックをセットする

8色 → 4色

インクトレイ			
Y 8	Y 1		
M 7	M 2		
C 6	C 3		
K 5	K 4		

4色 → 8色

インクトレイ			
Lg 8	Y 1		
M 7	Lm 2		
Lc 6	C 3		
K 5	Gy 4		

ジュウテンスタート
*ホトルカクニン OK?



ジュウテンチュウ
シハ' ラクオマチクタ' サイ 12

Step5 ダミーサブカートリッジを抜いて、切り換え後のサブカートリッジをセットする

サブカートリッジ							
Y	空	C	空	K	空	M	空
1		3		5		7	

8色 → 4色

サブカートリッジ							
Y	M	C	K	K	C	M	Y
1	2	3	4	5	6	7	8

4色 → 8色

サブカートリッジ							
Y	Lm	C	Gy	K	Lc	M	Lg
1	2	3	4	5	6	7	8

クリーニング'スタート
*ホトルカクニン OK?



クリーニング'チュウ
シハ' ラクオマチクタ' サイ 12

切り換え
完了

こんなときは

調整する

メニューツリー

索引

■ 色切り換え手順

STEP 1 廃インクボトルを空にする

STEP 2 サブカートリッジを抜いて、ダミーサブカートリッジをセットする

- 1

↑インク トウロク↓
 ←メデ`ィア オクリ→

↓ MENU
- 2

↑ハ`ックフィード` フィード` ↓
 ←クリーニング` サービス→

↓ >
- 3

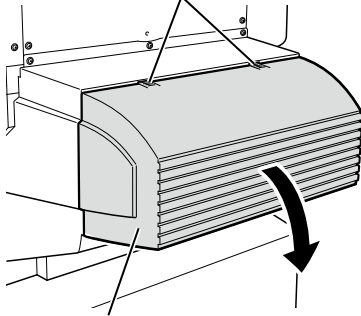
#キャップクリーニング
 >

↓ ∨ . . .
- 4

#イロキリカエ (8ショク→4ショク) ∨
 > #イロキリカエ (4ショク→8ショク)
 ∨ >

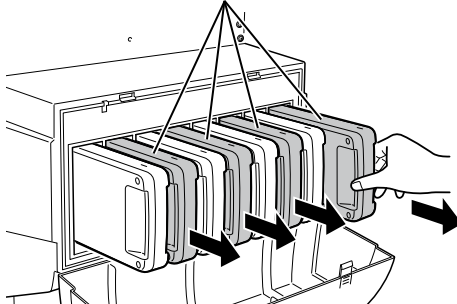
↓ OK
- 5

ツマミネジ



サブカートリッジカバー
- 6

取り外すサブカートリッジ



本機をオフラインにして、MENU キーを押す

> キーを押す

∨ キーを数回押し、「#イロキリカエ」を選択する

∨ , ∨ キーで色切り換えのメニューを選択し、OK キーを押す

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

サブ`タンクカバーヲ
 ハス`シテクタ`サイ

サブカートリッジ (4本) を取り外す

8色→4色の場合：

Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のサブカートリッジを取り外します。

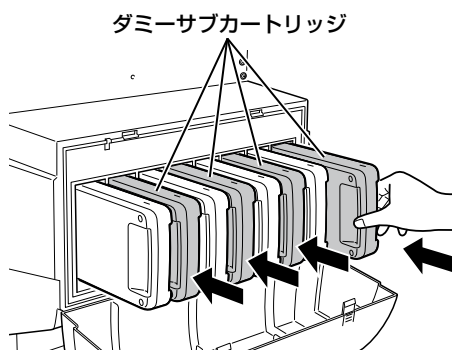
Lm2サブ`タンクヲハス`シテクタ`サイ

4色→8色の場合：

M2、K4、C6、Y8のサブカートリッジを取り外します。

M2サブ`タンクヲハス`シテクタ`サイ

7



ダミーサブカートリッジ

色交換セットのダミーサブカートリッジをセットする

8色→4色の場合：

Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のインクスロットにセットします。

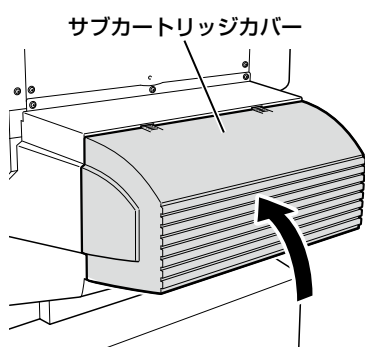
Lm2ダミーサブタンク
セットシテクタサイ

4色→8色の場合：

M2、K4、C6、Y8のインクスロットにセットします。

M2ダミーサブタンク
セットシテクタサイ

8



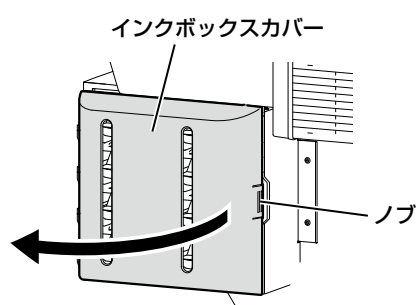
サブカートリッジカバー

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

サブタンクカバー
トリツケテクタサイ

STEP 3 インクトレイを抜いて、洗浄を2回行う

1

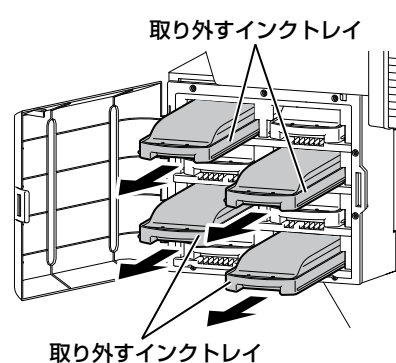


インクボックスカバー

インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

2



取り外すインクトレイ

取り外すインクトレイ

インクトレイ（4個）を取り外す

8色→4色の場合：

Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のインクトレイを取り外します。

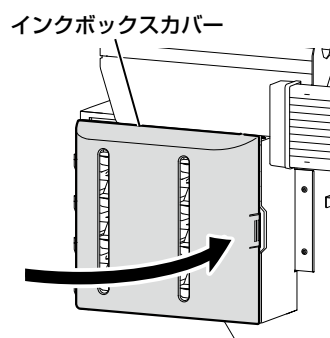
Lm2インクパック
ヌイテクタサイ

4色→8色の場合：

M2、K4、C6、Y8のインクトレイを取り外します。

M2インクパック
ヌイテクタサイ

3



インクボックスカバー

インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタサイ

4

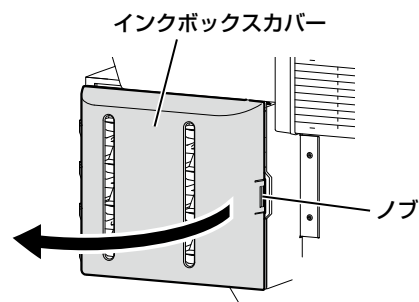
ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?



OK

ヌキトリチュウ
シバ ラクオマチクタ サイ 12

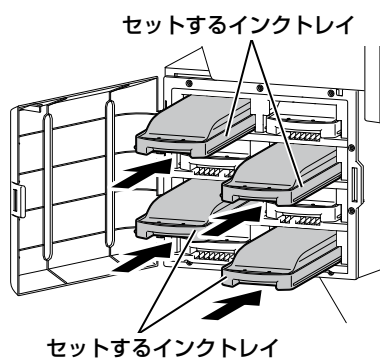
5



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタ サイ

6



洗浄液バックをセットしたインクトレイをセットする

8色→4色の場合：

Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のインクスロットにセットします。

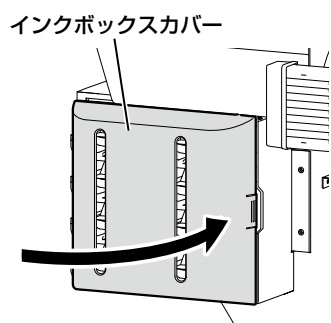
L m 2 センジ ヨウエキハ ックラ
セットシテクタ サイ

4色→8色の場合：

M2、K4、C6、Y8のインクスロットにセットします。

M 2 センジ ヨウエキハ ックラ
セットシテクタ サイ

7



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタ サイ

8

シュウテンスタート
*ホトルカクニン OK?



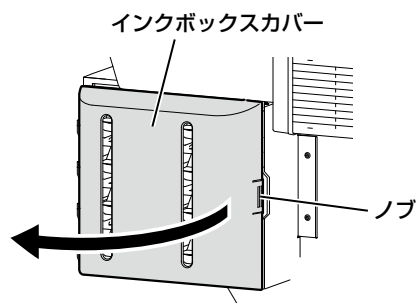
OK

シュウテンチュウ
シバ ラクオマチクタ サイ 12

OK キーを押す

洗浄液を充填して本機内のインク洗浄をします。

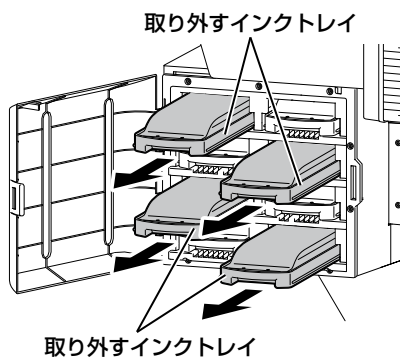
9



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

10



洗浄液パックをセットしたインクトレイを取り外す

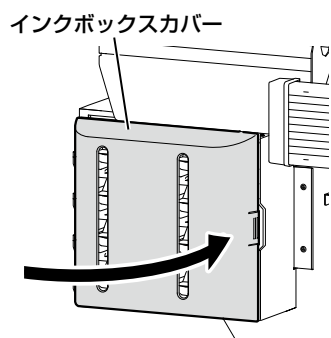
8色→4色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のインクトレイを取り外します。

L m 2 センジ ヨウエキハ ックラ
ヌイテクタサイ

4色→8色の場合：
M2、K4、C6、Y8のインクトレイを取り外します。

M 2 センジ ヨウエキハ ックラ
ヌイテクタサイ

11



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタサイ

12

ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?



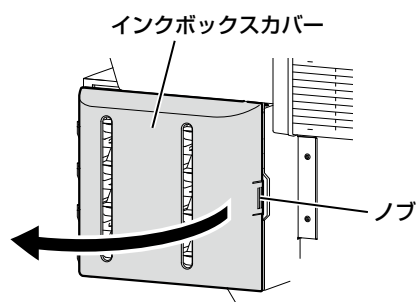
ヌキトリチュウ
シハラクオマチクダサイ 12

OK キーを押す
抜き取りを実行します。

13 6 ~ 12 の手順をくりかえし、再度洗浄を実行する

STEP 4 インクパックをセットする

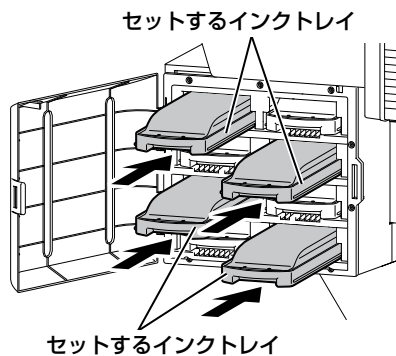
1



インクボックスカバーを開ける

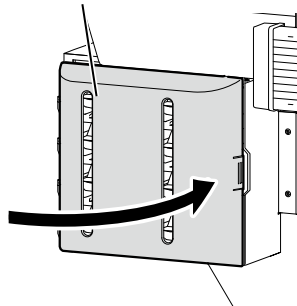
インクカバー
アケテクタサイ

2



3

インクボックスカバー



4

メンテナンススタート
*ボトルカクニン OK?



メンテナンスチュウ
シハ ラクオマチクタ サイ 12

インクトレイ (4 本) をセットする

8 色→4 色の場合：

4 ショクモート ノインクハ ックラ
セットシテクタ サイ

4 色→8 色の場合：

8 ショクモート ノインクハ ックラ
セットシテクタ サイ

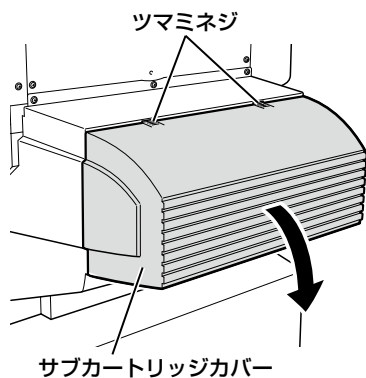
インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクタ サイ

OK キーを押す
インクを充填します。

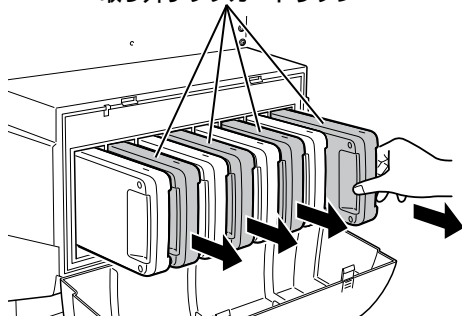
STEP 5 ダミーサブカートリッジを抜いて、サブカートリッジをセットする

1



2

取り外すサブカートリッジ



サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ 2 ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

サブタンクカバーヲ
ハス シテクタ サイ

色交換セットのダミーサブカートリッジを取り外す

8 色→4 色の場合：

Lm2、Gy4、Lc6、Lg8 のサブカートリッジを取り外します。

L m 2 タ ミーサブ タンクラ
ハステク タ サイ

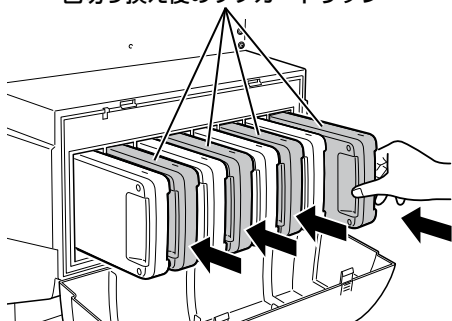
4 色→8 色の場合：

M2、K4、C6、Y8 のサブカートリッジを取り外します。

M 2 タ ミーサブ タンクラ
ハステク タ サイ

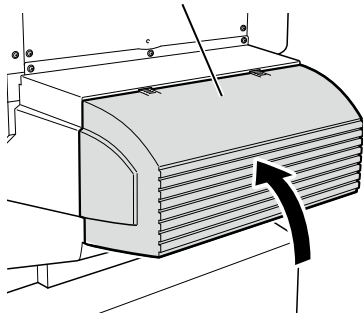
3

色切り換え後のサブカートリッジ



4

サブカートリッジカバー



5

クリーニングスタート
*ボトルカクニン OK?



クリーニングチュウ
シハ[°]ラクオマチクタ[°]サイ 12

サブカートリッジ (4 本) をセットする

8 色→4 色の場合：

M2、K4、C6、Y8 にサブカートリッジをセットします。

M2サブ[°]タンクヲ
セツシテクタ[°]サイ

4 色→8 色の場合：

Lm2、Gy4、Lc6、Lg8 にサブカートリッジをセットします。

Lm2サブ[°]タンクヲ
セツシテクタ[°]サイ

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

サブ[°]タンクカバ[°]ーヲ
トリツケテクタ[°]サイ

OK キーを押す

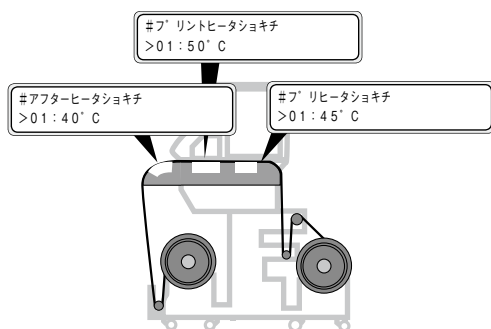
クリーニングが実行され、色切り換え操作が終了します。

ヒータの設定をする

各ヒータ温度は、トウロクメニューで設定されたヒータ初期値が自動設定されます。したがって、通常はヒータコントロールメニューを操作する必要はありません。ヒータコントロールメニューは、印刷中に温度の微調整を行う場合や、現在のヒータ温度を確認する場合に使用します。

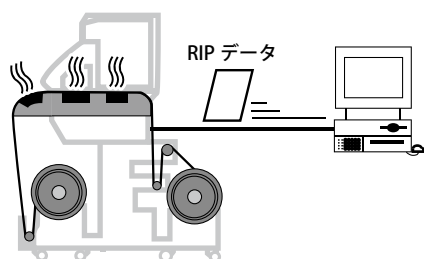
◆ヒータ温度設定の流れ

①メディアに登録された初期値温度でスタンバイ



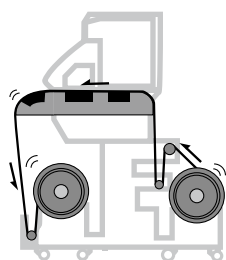
メディアセット時にメディアの種類を選択すると、そのメディアに対して設定されている各ヒータの温度初期値がメニュー上に表示されます。

②RIP データを受信して加熱開始



RIP（プリントデータ、ジョブ）で温度設定をしている場合は、ヒータコントロールメニュー上の設定温度は上書きされます。

③設定温度近くになると印刷開始

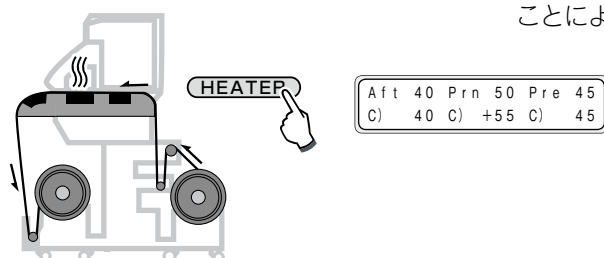


アフター、プリント、プリのすべてのヒータの現在温度が設定温度より 1℃低い温度に到達すると、印刷を開始します。



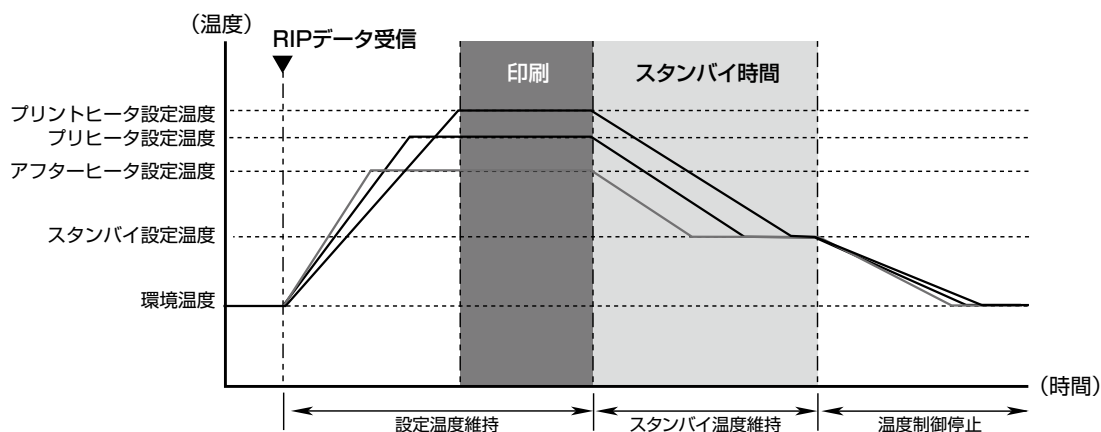
- ◇ ヒータの設定最高温度は以下の通りです。
アフターヒータ：70℃、プリントヒータ：55℃、
プリヒータ：55℃
- ◇ 印刷が終了しても、本項で変えられた設定温度が、メディアをセットし直すまで（または電源をオフするまで）「設定温度」として残ります。ただし、トウロクメニューのヒータ初期値の温度は変更されません。

④印刷中にヒータ温度を変更



印刷中はヒータコントロールメニューで設定温度を变えることにより、印刷しながら温度が変更できます。

■ 印刷時のヒータ温度制御



◇ スタンバイ温度の初期値は以下の通りです。
アフターヒータ：60℃、プリントヒータ：45℃、プリヒータ：45℃
ただし、設定温度が上記よりも低い場合は、設定温度まで温度が下がります。

◆ ヒータコントロールメニューを表示する

HEATER キーを押すとヒータコントロールメニューが表示されます。

◆ ヒータコントロールメニューのキー操作



キー 設定するヒータを選択します。



キー ヒータ温度を設定します。

MENU キー

ヒータのオン／オフを切り換えます。



キー ヒータコントロールメニュー表示中に、1.5 秒押し続けると、印刷動作がなくても強制的にすべてのヒータがオンになります（加熱制御を開始します）。

CANCEL キー

ヒータコントロールメニュー表示中に、1.5 秒押し続けると、**OK** キーで強制的にヒータをオンした状態を解除します（加熱制御を停止します）。

◆ ヒータコントロールメニューの表示を終了する

ヒータコントロールメニュー表示中に **HEATER** キーを押します。

■ ヒータコントロールメニュー表示が自動で終了する場合

ヒータヒョウジ シュウリョウ

ヒータコントロールメニュー表示状態で、キーが 30 秒以上入力されない場合、自動的に「ヒータヒョウジ シュウリョウ」と 2 秒間表示した後、ヒータコントロールメニューの表示が終了します。
この表示中は、キー入力は無効となります。

■ メディア種類とヒータ設定に関する参考情報

メディアの種類ごとの、ヒータ設定温度とプリントモードの参考設定値（初期値）は、以下の通りです。ご使用のメディアにより、設定を変更してお使いください。

メディア分類	メディアの種類選択	推奨ヒータ設定温度			プリントモード
		アフター	プリント	プリ	
光沢塩ビ	Glossy	45℃	40℃	45℃	標準1／双方向
光沢なし塩ビ	Matte	45℃	40℃	45℃	標準1／双方向
ターポリン	Banner	45℃	40℃	45℃	標準1／双方向

ヒータ設定温度は、アフター 60℃以下、プリント 45℃以下、プリ 50℃以下の範囲内での設定を推奨します。

⚠ 注意

- ◆ プリントヒータを高温に設定すると、インクの定着性は良くなりますが、メディアのシワや印刷面のマット化の原因になる場合があります。メディアの種類や環境温度にあわせて調整してください。
- ◆ プリントヒータを高温に設定すると、安定した印刷品質を得るために、自動的に印刷速度を落として印刷する場合があります。
- ◆ アフター／プリヒータの温度は、プリントヒータ温度に対して +5℃を目安に設定してください。アフター／プリヒータとプリントヒータのバランスが悪いとメディアにシワが発生する場合があります。
- ◆ プリントヒータを高温にすると印刷抜けが発生することがあります。

◆ 初期値温度を設定する

1

↑ インク
トウロク ↓

← メデ ィ ア
オクリ →

↓

2

#メデ ィ アセンタク
 >01:PAPER *

↓

3

#アフターヒータショキチ
 >01:40℃

↓

4

#アフターヒータショキチ
 *01:40℃

↓ , , ,

5

#アフターヒータショキチ
 *01:50℃

↓

#アフターヒータショキチ
 >01:50℃

本機をオフラインにし、 キーを押す

キーを数回押して「#アフターヒータショキチ」を選択する

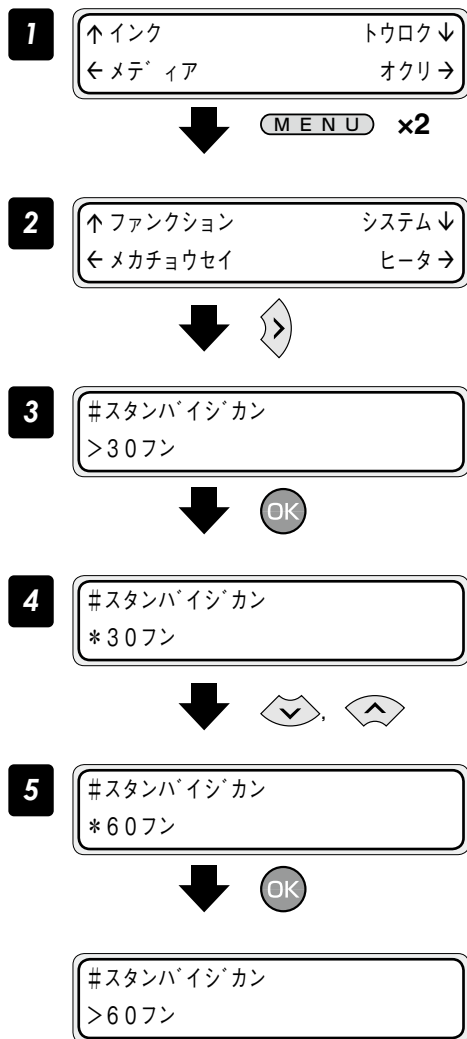
キーを押す

設定温度を入力する
, キーで桁を合わせ、, キーで数値を設定します。

キーを押す

◆スタンバイ時間を設定する

印刷終了後、ヒータのスタンバイ設定温度を維持する時間を選択します。(スタンバイ設定温度に移行する時間も含まれます。)



本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

> キーを押す

OK キーを押す

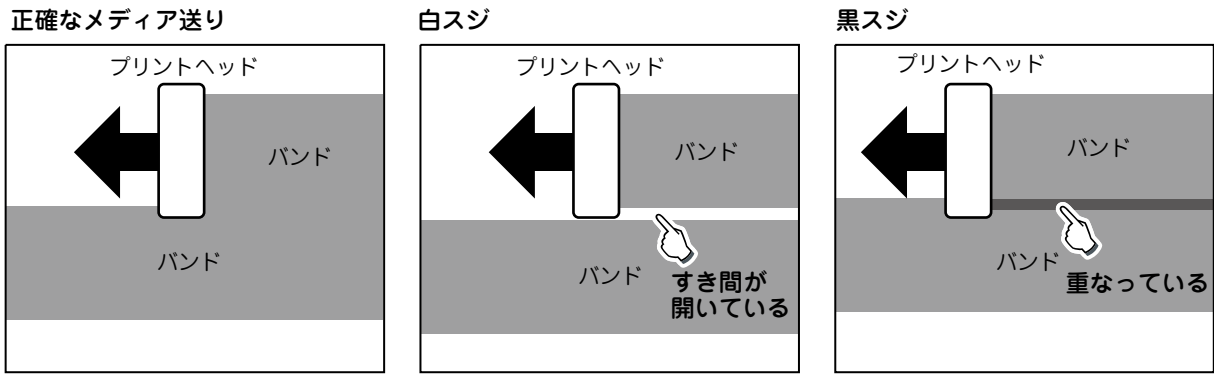
V, ^ キーを押して維持時間を選択する

OK キーを押す

設定完了

スマートパステクノロジーについて

インクジェットプリンタでは1 スキャンで印刷する幅（バンド）の間隔で横縞模様が発生することがあります。この横縞模様のことをバンディングと言います。バンディングの原因は、主にメディアに不適切な送り補正値が設定されていることです。適切な値ならすき間無くつながるバンド間が、値が大きすぎるとすき間が開き（白スジ）、小さすぎると重なり（黒スジ）横縞模様が発生します。他にも、インクの乾燥が遅い場合やスキャン毎の送り量のバラツキが大きいメディアを使用した場合でもバンディングは発生します。

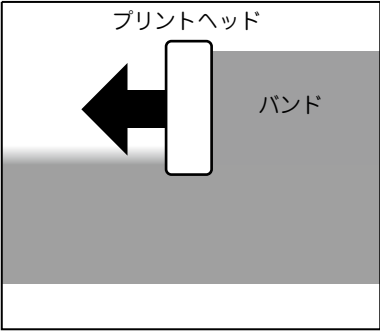


スマートパステクノロジーは、このバンディングを軽減する機能です。本機の操作メニューでは、トウロクメニューの「# ガシツモード」でモード1、モード2、モード3、モード4のいずれかを選択することで有効になります。

スマートパステクノロジーでは適切な送り補正値でもバンド間は重なって印刷されます。バンド間の重ね合わせ部分は独自のアルゴリズムで処理し、重ならない部分との差を小さくして横縞模様を見えにくくします（モード1）。

モード2、モード3、モード4ではバンド間の重ね合わせ量を大きくし、新アルゴリズムを使用することによって、色ムラ、カスレを軽減させる機能を追加しました。この機能により従来よりも高品質かつ安定した印刷が可能になりました。

スマートパステクノロジー「オン」



注意 1)

モード1では、印刷するデータによっては重ね合わせ部分が薄く見えたりぼやけて見えたりする場合があります。重ね合わせ部分が気になるようであれば、モード1以外を選択してください。

注意 2)

モード4ではキャリッジ速度が遅くなりますが、故障ではありません。

ガシツモード	特徴	送り補正値のズレ許容度	備考
オフ	バンディング軽減を行いません。	なし※	ぴったり正確に合わせても、滑りやすいメディアの場合、バンディングが出る場合があります。
モード1	バンディング軽減を行います。	小	滑りやすいメディアの微妙な送りのばらつきも吸収することができますので、送り補正値が正確に合っていない場合でもきれいに印刷できます。（ズレが許容度を上回れば、印刷不良になりますので、ある程度の送り補正値の合わせは必要です。）
モード2	バンディング軽減を行います。モード1で改善されなかった場合に使用します。	中	
モード3	バンディング軽減を行います。モード1、モード2で改善されなかった場合に使用します。	大	
モード4	バンディング軽減を行います。特に「ニジミ」や「エッジのシャープさがなくぼやけている」ような症状を改善する場合に使用します。	小	

※送り補正値をぴったり正確に合わせてください

「# ガシツモード」の変更手順は、74 ページをご参照ください。

IP-7900-00

印刷モード名称	印刷速度（注1）				
	オフ	モード1	モード2	モード3	モード4
ドラフト 1	50m ² /h	46m ² /h	39m ² /h	28m ² /h	（注3）
	100m ² /h	93m ² /h	※	※	（注3）
ファインドラフト 1	39m ² /h	36m ² /h	24m ² /h	18m ² /h	（注3）
	78m ² /h	72m ² /h	※	※	（注3）
ヒョウジュン 1 （標準 1）	30m ² /h	27m ² /h	19m ² /h	13m ² /h	13m ² /h
	60m ² /h	55m ² /h	※	※	※
ヒョウジュン 2 （標準 2）	20m ² /h	19m ² /h	13m ² /h	10m ² /h	10m ² /h
	40m ² /h	37m ² /h	※	※	※
コウヒンイ （高品位）	13m ² /h	12m ² /h	8m ² /h	7m ² /h	7m ² /h
	26m ² /h	24m ² /h	※	※	※
コウノウド （高濃度 2）	13m ² /h	12m ² /h	8m ² /h	7m ² /h	7m ² /h
	26m ² /h	24m ² /h	※	※	※

※現在開発中

IP-7700-00

印刷モード名称	印刷速度（注2）				
	オフ	モード1	モード2	モード3	モード4
ドラフト 1	50m ² /h	46m ² /h	34m ² /h	25m ² /h	（注3）
	100m ² /h	93m ² /h	※	※	（注3）
ファインドラフト 1	36m ² /h	33m ² /h	22m ² /h	16m ² /h	（注3）
	72m ² /h	67m ² /h	※	※	（注3）
ヒョウジュン 1 （標準 1）	27m ² /h	25m ² /h	16m ² /h	12m ² /h	12m ² /h
	54m ² /h	50m ² /h	※	※	※
ヒョウジュン 2 （標準 2）	18m ² /h	16m ² /h	12m ² /h	8m ² /h	8m ² /h
	36m ² /h	33m ² /h	※	※	※
コウヒンイ （高品位）	12m ² /h	11m ² /h	7m ² /h	5m ² /h	5m ² /h
	24m ² /h	22m ² /h	※	※	※
コウノウド （高濃度 2）	12m ² /h	11m ² /h	7m ² /h	5m ² /h	5m ² /h
	24m ² /h	22m ² /h	※	※	※

※現在開発中

（注1）

印刷速度の数値は、2642mm（104 インチ）幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を、上段：8 色機、下段：4 色機という形式で記載しています。4 色機のモード 2、モード 3 は現在開発中です。

（注2）

印刷速度の数値は、1900mm（74 インチ）幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を、上段：8 色機、下段：4 色機という形式で記載しています。4 色機のモード 2、モード 3 は現在開発中です。

（注3）

ドラフト 1 およびファインドラフト 1 では、モード 4 はサポートされていません。

モード 4 を選択した場合は、モード 3 と同じ動作をします。

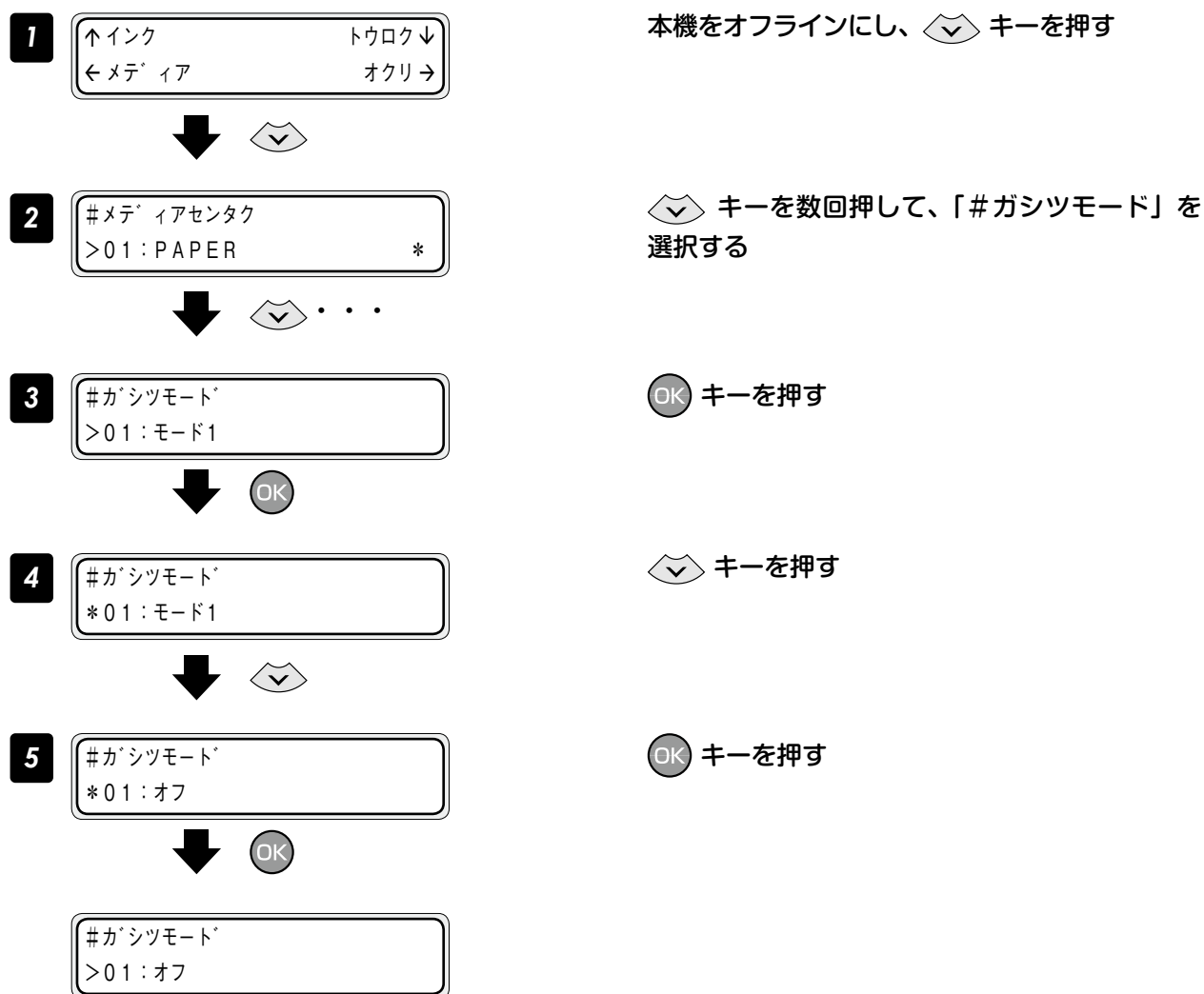


調整をする前に

調整を行う前に、以下の作業を行ってください。

- ① ヒータを強制的に ON に設定し、装置を 30 分以上温めてください。
装置が十分に温まった後、調整を実施してください。装置が充分温まっていない状態で調整を行うと、正しく調整が行えない場合があります。
- ② プリントヘッドの高さを合わせる為、加圧操作ノブを「Open」にして、メディアを再度セットし直してください。
- ③ スマートパステクノロジー「#ガシツモード」を「オフ」にしてください。

◆スマートパステクノロジー「#ガシツモード」の変更手順

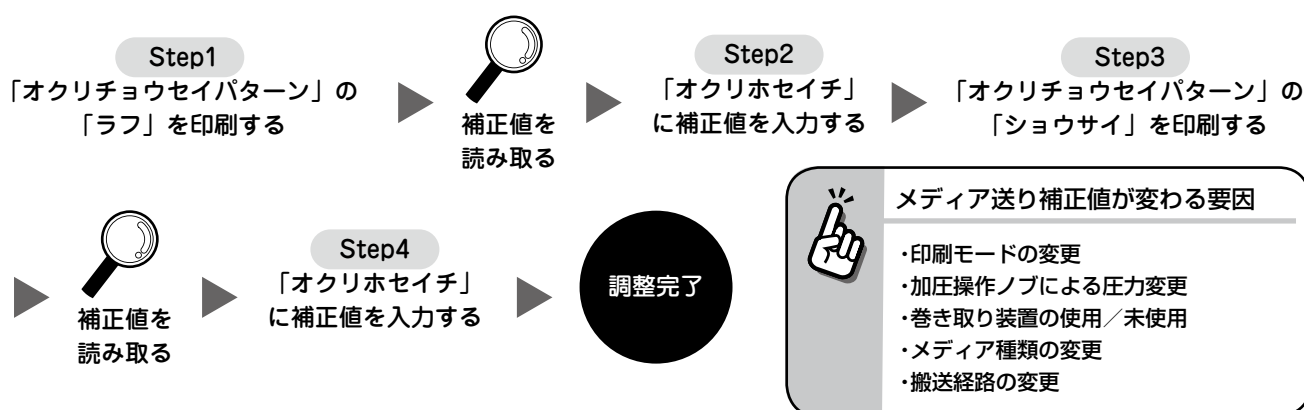


調整方法

◆メディアの送り量を調整する「オクリチョウセイ」

メディア送りの補正はメディア送り調整パターン「ラフ」で、おおよそのメディア送り補正値を求め、「ショウサイ」で正式な補正値を設定します。「ラフ」「ショウサイ」とも1回で約90cmの調整パターンを印刷します。印刷中にメディアの送り量を調整する場合は、 44 ページをご参照ください。

■ 作業の流れ

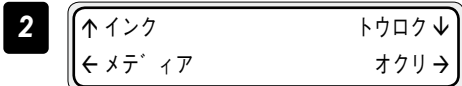


■ 調整手順

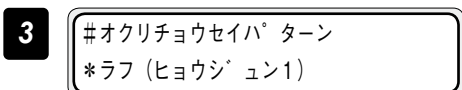
STEP 1 調整パターン「オクリチョウセイパターン」の「ラフ」を印刷する

1 長さ 4m 以上のメディアを取り付ける

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。



本機をオフラインにし、 キーを押す



, キーを押して、「ラフ」の印刷モードを選択し、 キーを押す

メディア送り補正値を設定するメディアで、通常お使いいただく印刷モードを選択してください。

印刷モードの詳細は、 45 ページをご参照ください。



印刷モード「コウノウド2」を使用している場合

◆ 以下の印刷モードの送り補正値を求める場合は、使用する調整パターンの名称が異なります。

送りを合わせたい印刷モード	使用する調整パターン
コウノウド2	ラフ (コウヒンイ)
	ショウサイ (コウヒンイ)

4

#オクリチョウセイハ° ターン
*OK?



OK

#オクリチョウセイハ° ターン
*シッ コウチュウ

OK キーを押す

選択された印刷モードで、メディア送り調整パターン「ラフ」が印刷されます。

メディア送り調整パターンの印刷を中止するときは、**CANCEL** キーを押してください。

5

印刷結果から、おおよそのメディア送り補正値を選ぶ

99.00%～101.00%の範囲を 0.5%刻みで 5 つのパターンが印刷されますので、その中からおおよその補正値を選びます。

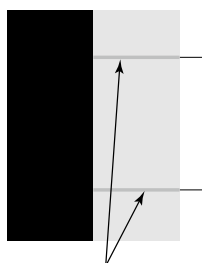


メディア送り調整パターンの見方

K色を例に説明します。

メディア送り補正値が小さい場合

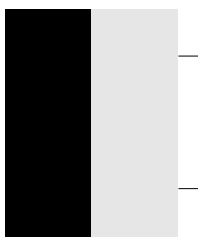
99.00%



横ラインの位置を目印に、パスのつながり目が重なっている（濃くなっている）場合は、補正値が小さい。

メディア送り補正値が適正な場合

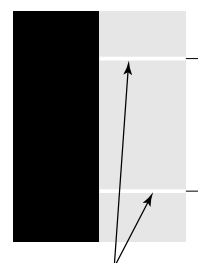
100.25%



パスのつながり目に重なりがなく、均一になっている場合は、補正値が適正。

メディア送り補正値が大きい場合

101.00%



パスのつながり目が離れている（薄くなっている）場合は、補正値が大きい。

STEP 2 補正値を入力する

1

#オクリホセイチ
#Banner >100.00%



OK

OK キーを押す

2

#オクリホセイチ
#Banner *100.00%



<

>

✓

^

メディア送り補正値を入力する

◀, ▶ キーで桁を合わせ、✓, ^ キーで数値を設定します。

3

#オクリホセイチ
#Banner *100.50%



OK

OK キーを押す

4

#オクリホセイチ
#Banner >100.50%



^

^ キーを押す

STEP 3 調整パターン「オクリチョウセイパターン」の「ショウサイ」を印刷する

1 #オクリチョウセイパ ターン
*ラフ (ヒョウジ ユン1)



, キーを押して、「ショウサイ」の印刷モードを選択する

「ラフ」と同じ印刷モードを選択してください。

2 #オクリチョウセイパ ターン
*ショウサイ (ヒョウジ ユン1)



キーを押す

3 #オクリチョウセイパ ターン
*OK?



キーを押す

4 #オクリチョウセイパ ターン
*ジ ッコウチュウ

選択された印刷モードで、メディア送り調整パターン「ショウサイ」が印刷されます。

5 印刷結果から、正式なメディア送り補正値を選ぶ

入力した補正値に対して、-0.12%～+0.12%の範囲を 0.06%刻みで 5 つのパターンが印刷されますので、適切な補正値を選びます。

STEP 4 補正値を入力する

1 #オクリチョウセイパ ターン
>ラフ (ヒョウジ ユン1)



キーを押す

2 #オクリホセイチ
#Banner >100.50%



キーを押す

3 #オクリホセイチ
#Banner *100.50%



メディア送り補正値を入力する

, キーで桁を合わせ、 , キーで数値を設定します。

4 #オクリホセイチ
#Banner *100.56%



キーを押す

5 #オクリホセイチ
#Banner >100.56%

調整完了

キーを押すと、もとのオフライン状態に戻ります。

◆プリントヘッドの位置を調整する「ヘッド位置調整」

各プリントヘッドの主走査方向（メディアの左右）のプリントヘッド位置を K5 プリントヘッドを基準に調整します。「ヘッドイチチョウセイ」の印刷結果をもとに、補正値を入力します。

■ 調整手順

STEP 1 調整パターン「ヘッドイチチョウセイ」を印刷する

- ↑ インクトウロク ↓

← メデ ィ アオクリ →

↓ MENU x2

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す
 - ↑ ファンクションシステム ↓

← メカチョウセイヒータ →

↓ <

< キーを押す
 - # チョウセイハ° ターン

> ノス° ルフ° リント

↓ OK

OK キーを押す
 - # チョウセイハ° ターン

* ノス° ルフ° リント

↓ ✓ . . .

✓ キーを押し、「* ヘッドイチチョウセイ」を選択する
 - # チョウセイハ° ターン

* ヘット° イチチョウセイ

↓ OK

OK キーを押す
 - # チョウセイハ° ターン

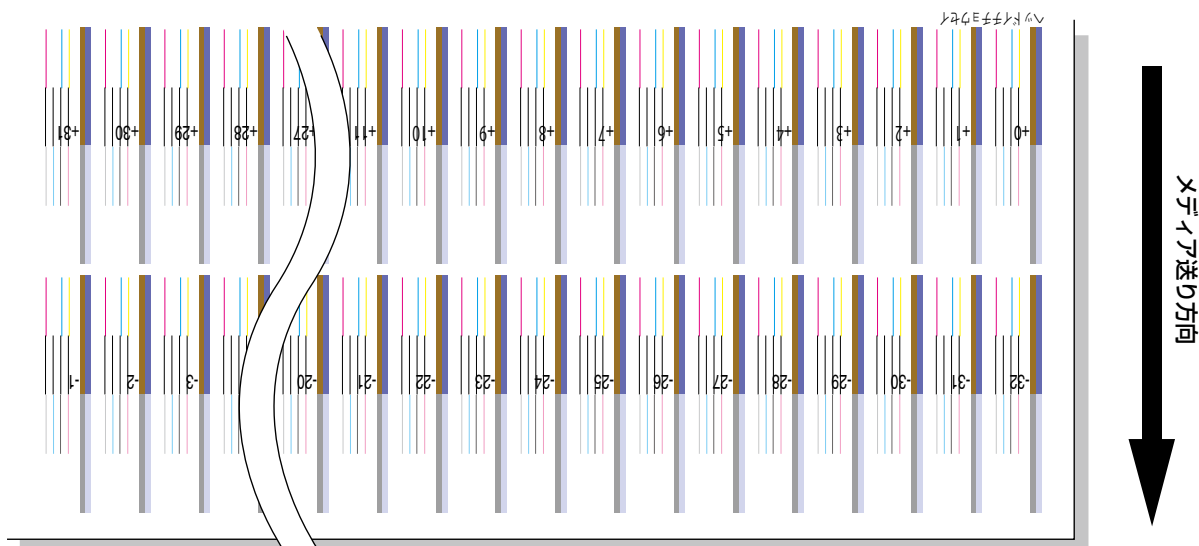
* OK?

↓ OK

OK キーを押す
- # チョウセイハ° ターン

* シ° ッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。



STEP 2 補正値を入力する

1 #ヘッド イチホセイチ
#Y1 >+00



メカチョウセイメニューを選択後、 キーを押して「#ヘッドイチホセイチ」の表示にする

2 #ヘッド イチホセイチ
#Lc6 >+00



キーを押して、カーソルを移動し、, キーでプリントヘッドの色を変更する

ここでは例としてLc6 プリントヘッドを調整する場合を説明します。

3 #ヘッド イチホセイチ
#Lc6 *+00



キーを押す

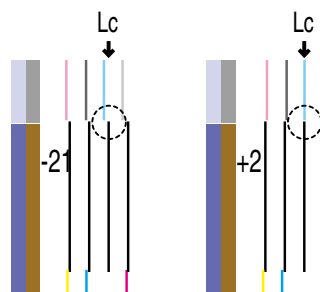
補正するプリントヘッドの色を確定させ、パラメータを入力できる状態にします。

4 「ヘッドイチチョウセイ」パターンのうち、基準となるK5 プリントヘッドの線と設定したいプリントヘッドの線が、もっとも合っているパターンの数値を入力する

, キーで桁を合わせ、, キーで値を変更します。

補正値は、K5 プリントヘッドの線と位置が一致している値を入力します。例えば、右図のLc6プリントヘッドでは-21はずれていますが、+2では一致していますので、「+2」を入力します。

#ヘッドイチホセイチ
#Lc6 >+02



5 #ヘッド イチホセイチ
#Lc6 >+02



キーを押す

他の色についても同様に調整する

◆プリントヘッドの左右のノズル位置を調整する「ヘッド左右調整」

各プリントヘッドの左右ノズル位置を調整します。「ヘッドサユウチョウセイ」の印刷結果をもとに補正値を入力します。

■ 調整手順

STEP 1 調整パターン「ヘッドサユウチョウセイ」を印刷する

- ↑ インクトウロク ↓

← メデ ィアオクリ →

↓ MENU x2

本機をオフラインにし、MENU キーを 2 回 押す
 - ↑ ファンクションシステム ↓

← メカチョウセイヒータ →

↓ ◀

◀ キーを押す
 - #チョウセイハ° ターン

>ノズ° ルフ° リント

↓ OK

OK キーを押す
 - #チョウセイハ° ターン

*ノズ° ルフ° リント

↓ ▼ . . .

▼ キーを押し、「*ヘッドサユウチョウセイ」を選択する
 - #チョウセイハ° ターン

*ヘット° サユウチョウセイ

↓ OK

OK キーを押す
 - #チョウセイハ° ターン

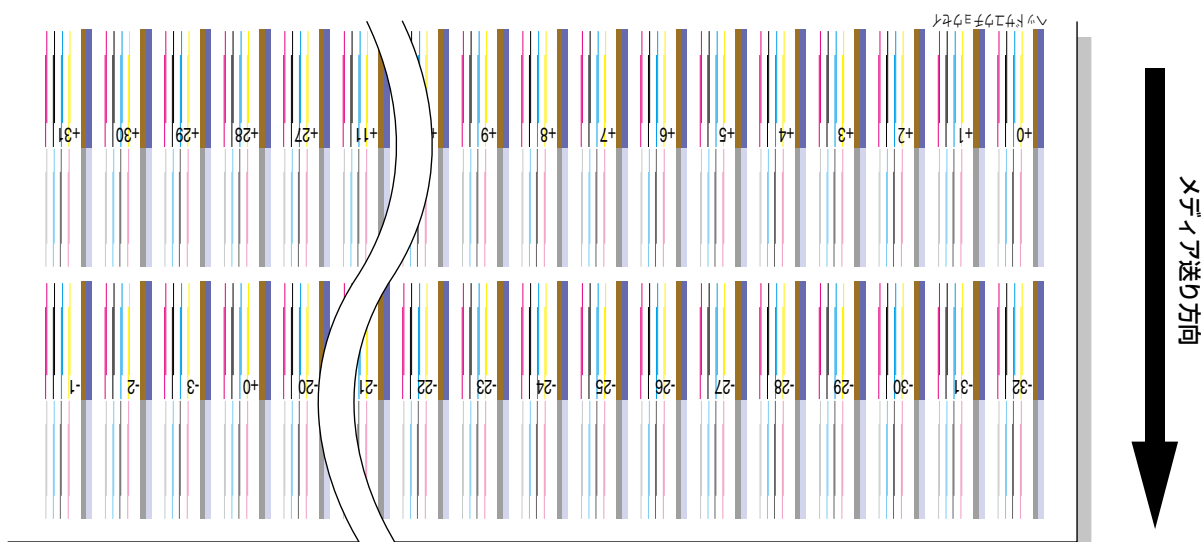
*OK?

↓ OK

OK キーを押す
- #チョウセイハ° ターン

*ジ° ッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。



STEP 2 補正値を入力する

1 #ヘッド サユウホセイチ
#Y1 >+00



メカチョウセイメニューを選択後、 キーを押して「ヘッドサユウホセイチ」の表示にする

2 #ヘッド サユウホセイチ
#M7 >+00

キーを押して、カーソルを移動し、 ,
 キーでプリントヘッドの色を変更する

ここでは例として M7 プリントヘッドを調整する場合を説明します。

3 #ヘッド サユウホセイチ
#M7 *+00



キーを押す

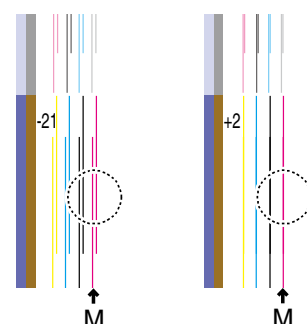
補正するプリントヘッドの色を確定させ、パラメータを入力できる状態にします。

4 「ヘッドサユウチョウセイ」パターンのうち、各色プリントヘッドの2本線が1本に合わさっているパターンの数値を入力する

, キーで桁を合わせ、 , キーで数値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの2本線がもっとも合
わさっている値を入力します。例えば、M7プリント
ヘッドを設定する場合、右図では-21はずれていま
すが、+2では1本に合っているため、「+2」を入力
します。

#ヘッド サユウホセイチ
#M7 >+02



5 #ヘッド サユウホセイチ
#M7 >+02



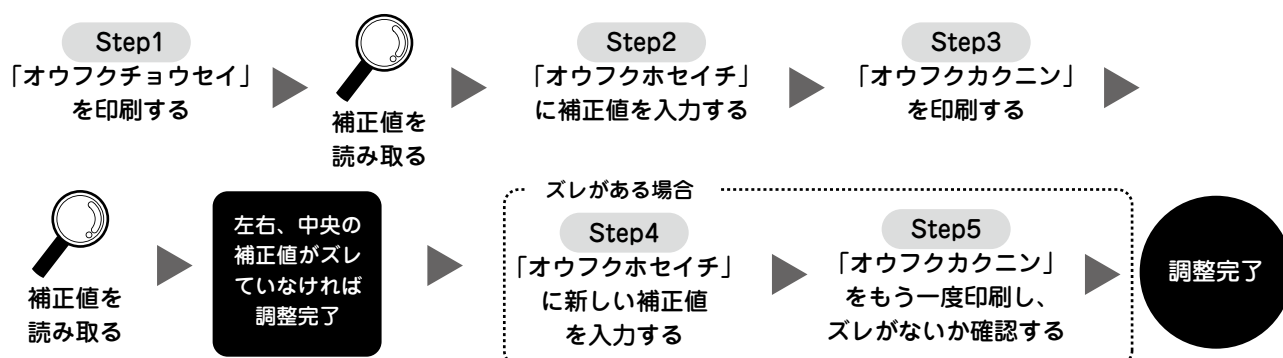
キーを押す

他の色についても同様に調整する

◆往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」

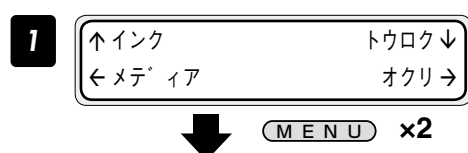
各プリントヘッドの往復の着弾位置を調整します。

■ 作業の流れ

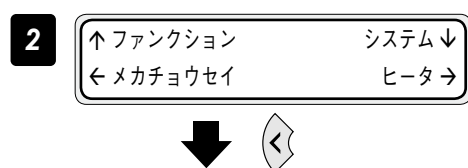


■ 調整手順

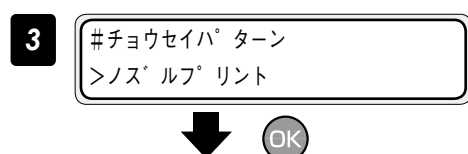
STEP 1 調整パターン「オウフクチョウセイ」を印刷する



本機をオフラインにし、**M E N U** キーを2回押す



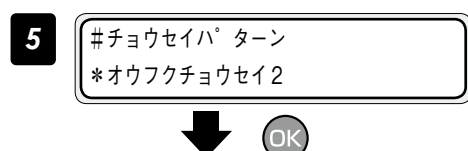
< キーを押す



OK キーを押す



> キーを数回押し、「*オウフクチョウセイ」を選択する



OK キーを押す

往復調整パターン<対応モード>

チョウセイパターン	インサツモード	ガシツモード
オウフクチョウセイ1	ヒョウジュン1	モード4
オウフクチョウセイ2	ヒョウジュン2	モード1
	コウヒンイ	モード2
	コウノウド2	モード3
オウフクチョウセイ3	ドラフト1	
オウフクチョウセイ4	ファインドラフト1	

6

#チョウセイハ° ターン
*OK?



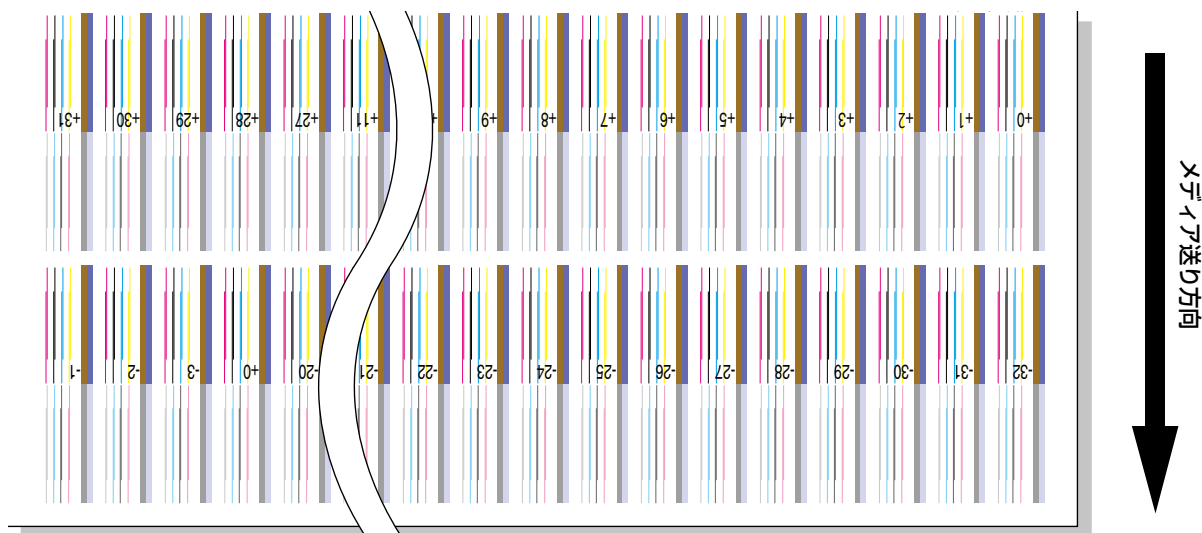
OK

#チョウセイハ° ターン
*ジッ コウチュウ

OK キーを押す

調整パターンが印刷されます。

・「オウフクチョウセイ△」印刷サンプル



※ 印刷サンプルは「オウフクチョウセイ (L) △」のパターンですが、実際には (L)、(R) の2パターン印刷されます。

STEP 2 補正值を入力する

1

#オウフクホセイ△ ◎ XXXXXX
#CCC >+00

◎ : L 列、R 列のいずれかを表示します
XXXXXX : メディア名を表示します
CCC : インク色・場所
8 色機モード時
Y1 : イエロー K5 : ブラック
Lm2 : ライトマゼンタ Lc6 : ライトシアン
C3 : シアン M7 : マゼンタ
Gy4 : グレー Lg8 : ライトグレー
4 色機モード時
Y1 : イエロー K5 : ブラック
M2 : マゼンタ C6 : シアン
C3 : シアン M7 : マゼンタ
K4 : ブラック Y8 : イエロー

メカチョウセイメニューを選択後、 キーを押して「オウフクホセイ△ ◎」の表示する

2

#オウフクホセイ2 L Glossy
#M7 >+00

キーを押して、カーソルを移動し、 ,
 キーで調整するインクの色と場所を変更する

ここでは例として、Glossy のオウフクホセイ2 の L 列 M7 プリントヘッドを調整する場合を説明します。

3

#オウフクホセイ2 L Glossy
#M7 *+00

OK キーを押して補正するプリントヘッドの色を確定させ、パラメータを入力できる状態にする

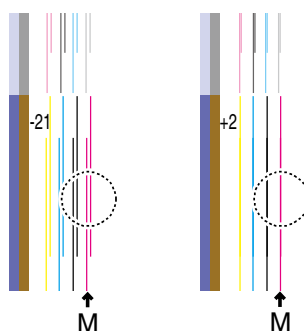
4 「オウフクチョウセイ」パターンのうち、各色プリントヘッドの2本線が1本に合わさっているパターンの数値を入力する

◀, ▶ キーで桁を合わせ、✓, ✗ キーで数値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの2本線がもっとも合わさっている値を入力します。

例えば、M7プリントヘッドを設定する場合、右図では-21はずれていますが、+2では1本に合わさっているので、「+2」を入力します。

#オウフクホセイチ2 L Glossy
#M7 >+02



#オウフクホセイチ2 L Glossy
#M7 >+02

OK キーを押す

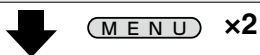


他のインクの色と場所についても同様に調整する

STEP 3 調整パターン「オウフクカクニン」を印刷する

1 ↑インク トウロク↓
←メデ`イア オクリ→

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す



2 ↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒータ→

◀ キーを押す



3 #チョウセイパ`ターン
>ノズ`ルプ`リント

OK キーを押す



4 #チョウセイパ`ターン
*ノズ`ルプ`リント

✓ キーを数回押し、「* オウフクカクニン」を選択する



往復調整確認パターン<対応モード>

チョウセイパターン	インサツモード	ガシツモード
オウフクカクニン1	ヒョウジュン1	モード4
オウフクカクニン2	ヒョウジュン2	モード1
	コウヒンイ	モード2
	コウノウド2	モード3
オウフクカクニン3	ドラフト1	
オウフクカクニン4	ファインドラフト1	

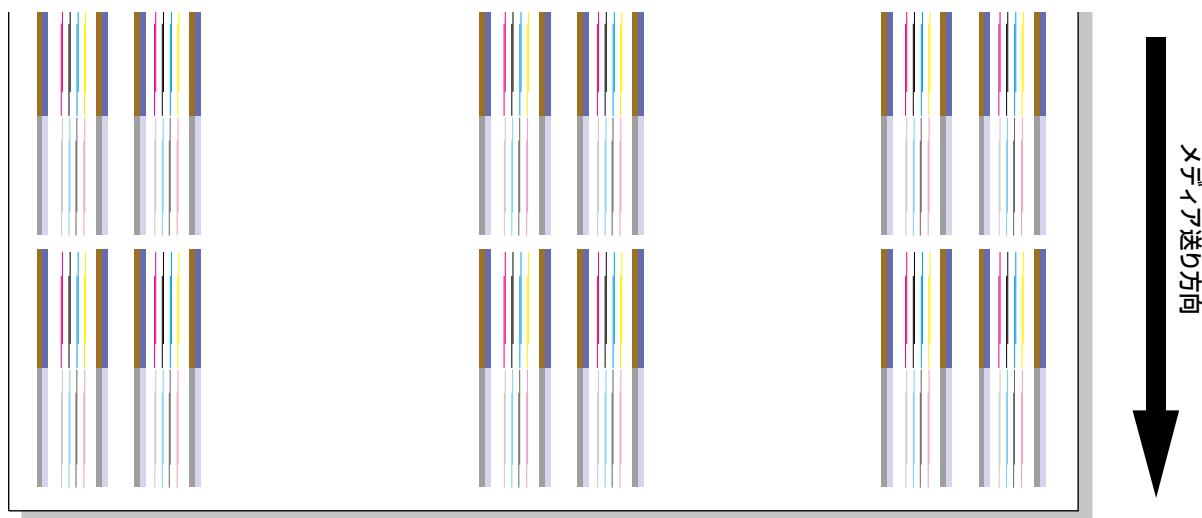


OK キーを押す

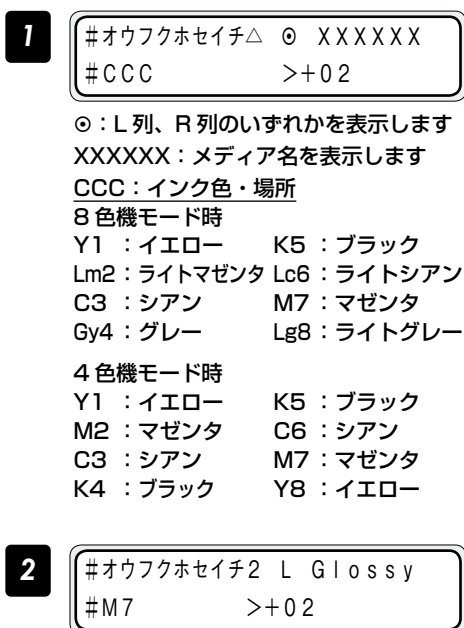
OK キーを押す

調整パターンが印刷されます。

・「オウフクカクニン△」印刷サンプル



STEP 4 新しい補正值を入力する



メカチョウセイメニューを選択後、 キーを押して「オウフクホセイチ△ ◎」の表示にする

キーを押して、カーソルを移動し、 ,
 キーで調整するインクの色と場所を変更する

ここでは例として、Glossy のオウフクホセイチ 2 の L 列 M7 プリントヘッドを調整する場合を説明します。

3

#オウフクホセイチ2 L Glossy
#M7 *+02

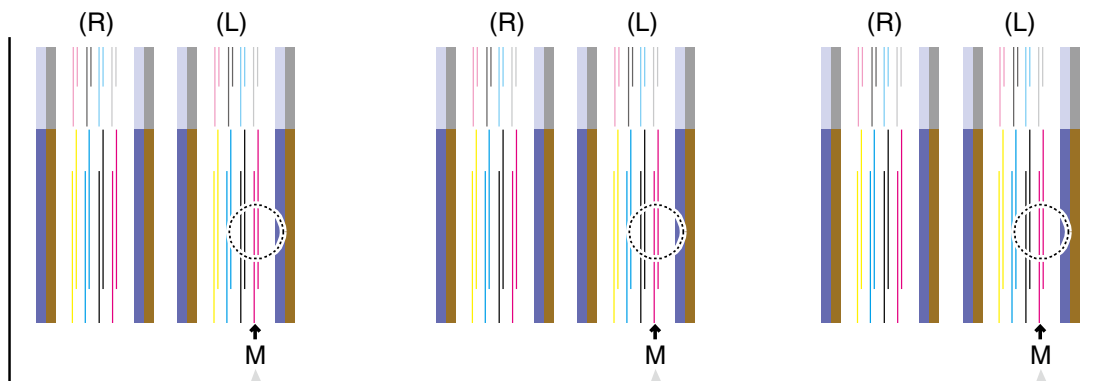
OK キーを押して補正するプリントヘッドの色を
確定させ、パラメータを入力できる状態にする

4

下図を参照して左右、中央のパターンでズレがないか確認する

ズレがある場合は、新しい補正值を入力します。

◀, ▶ キーで桁を合わせ、◀◀, ▶▶ キーで数値を変更します。



左右、中央のパターンを見て、およそのズレ量を目視で測り、平均値を求めます。
上記平均値に元の補正值を加えた数値が新しい補正值になります。



(例) 左: 「+3」ズレ、中央: 「+2」ズレ、右: 「+1」ズレ / 元の補正值: 「+2」の場合
→ 平均値 = 2
→ 「平均値: 2」 + 「元の補正值: +2」 = 「+4」
→ 「+4」を新しい補正值として入力します。

5

#オウフクホセイチ2 L Glossy
#M7 >+04

OK キーを押す



OK

他のインクの色と場所についても同様に調整する

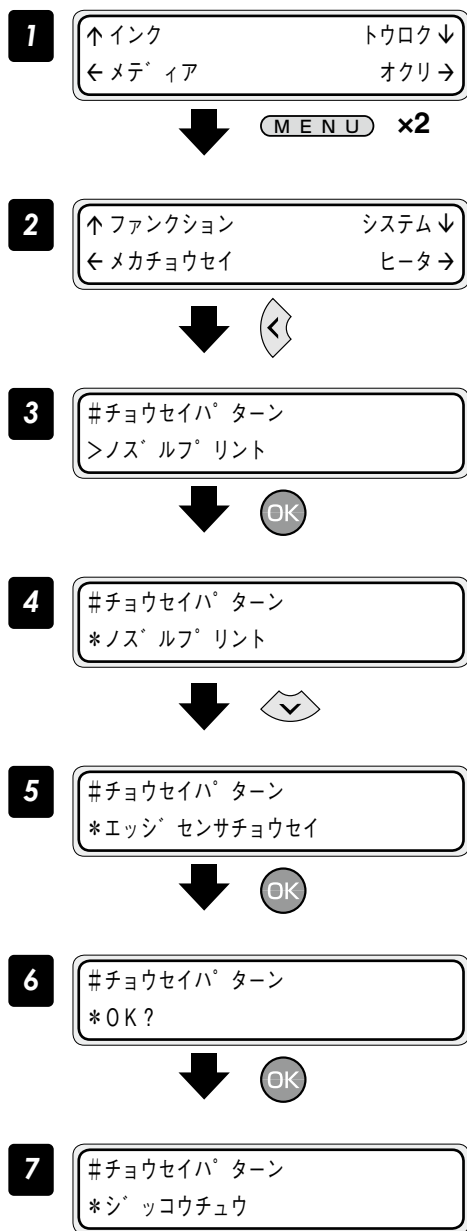
STEP 5 「オウフクカクニン」をもう一度印刷し、左右、中央のズレがないか確認する

1

「STEP3」、「STEP4」を再度行う

◆エッジセンサの位置を補正する「エッジセンサ調整」

エッジセンサ調整パターンを印刷して、エッジセンサ位置を補正します。印刷後、距離を測定し、パラメータのセットを行います。



本機をオフラインにし、**MENU** キーを2回押す

< キーを押す

OK キーを押す

✓ キーを押し、「*エッジセンサ ヲウセイ」を選択する

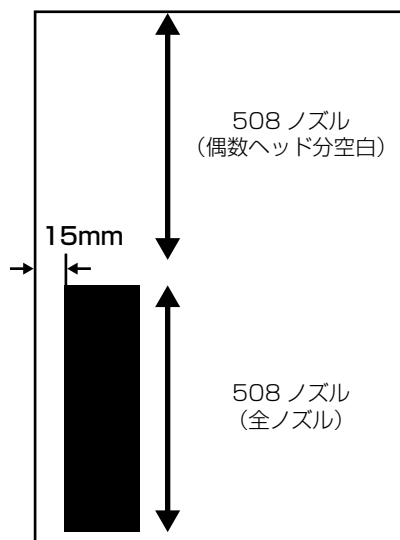
OK キーを押す

OK キーを押す

調整パターンが印刷されます。

8

・「エッジセンサチョウセイ」印刷サンプル



印刷結果を判定する

印刷結果の余白部分を直尺または定規で測定します。

仕様 15mm に対しての誤差を求めます。

誤差が 0mm であれば終了とします。

誤差が 0mm でない場合は、以下の手順で補正します。



補正値の求め方

◆ 15mm を基準値として余白部分を計測し、補正値を求めます。

<例>

余白部分が 14mm だった場合：-1.0mm が補正値になります。

余白部分が 16mm だった場合：+1.0mm が補正値になります。

9

↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒータ→



◀ キーを押す

10

#チョウセイパ° ターン
>ノズ° ルプ° リント



◀ キーを押して「#エッジセンサイチホセイ
チ」を選択する

11

#エッジ° センサ イチホセイチ
>±0.0mm



OK キーを押す

12

#エッジ° センサ イチホセイチ
>±0.0mm



センサ調整パターンの印刷結果をもとに、エッ
ジセンサ位置の補正値を入力する

13

#エッジ° センサ イチホセイチ
>+0.5mm

OK キーを押す

◀ キーを押して、上位メニューに戻る

◆自動クリーニング前後の画像のつなぎ目を調整する「戻し調整」

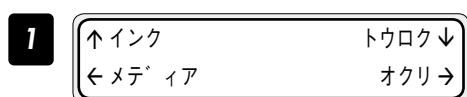
「クリーニングモード」を「モード2」で使用したときに、印刷途中に自動で行われるクリーニングの前後に印刷された画像のつなぎ目の位置を調整します。

「モドシチョウセイパターン」の印刷結果をもとに、補正值を入力します。

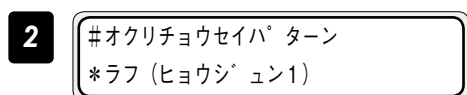
調整を行うときには、あらかじめ、「トウロク」メニューで「クリーニングモード」を「モード2」に設定しておいてください。

■ 調整手順

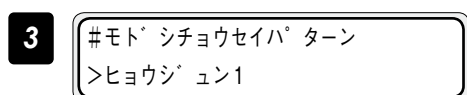
STEP 1 調整パターン「モドシチョウセイパターン」を印刷する



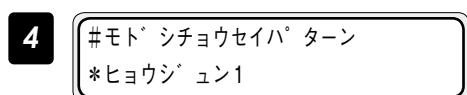
本機をオフラインにし、 キーを押す



キーを数回押し、「# モドシチョウセイパターン」を選択する



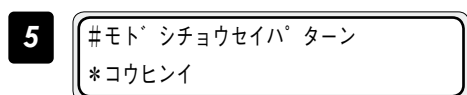
キーを押す



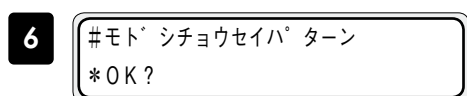
, キーを押して、印刷モードを選択する

戻し調整パターン<対応モード>

チョウセイパターン	インサツモード
ヒョウジュン1	ヒョウジュン1
コウヒンイ	コウヒンイ コウノウド
ドラフト1	ドラフト1
ファインドラフト	ファインドラフト1
ヒョウジュン2	ヒョウジュン2



キーを押す

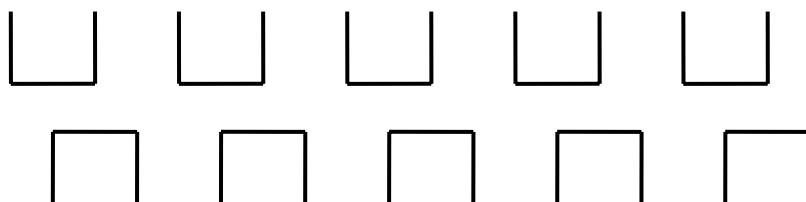


キーを押す

#チョウセイパ°ターン
*シ°ッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

・「モドシチョウセイパターン」印刷サンプル



メディア送り方向

STEP 2 補正値を入力する

1

↑インク トウロク↓
←メディア オクリ→



本機をオフラインにし、> キーを押す

2

#オクリチョウセイパ°ターン
*ラフ (ヒョウシ° Yun1)



✓ キーを数回押し、「# モドシホセイチ」を選択する

3

#モトシホセイチ
#PAPER >+0000パ°ルス

OK キーを押す

4

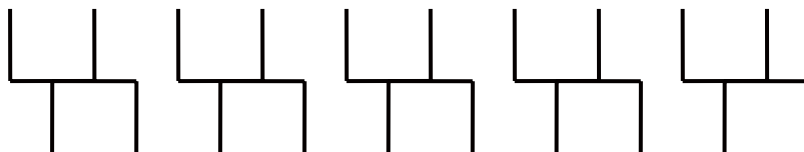
戻し補正値を入力する

◀, ▶ キーで桁を合わせ、✓, ▲ キーで数値を変更します。
入力できる範囲は、± 2000 パルス (1mm = 400 パルス) です。

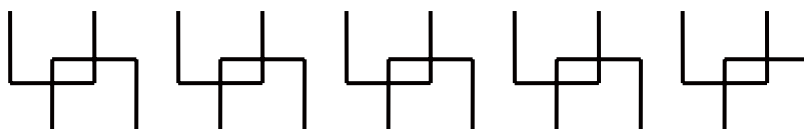


戻し調整パターンの見方

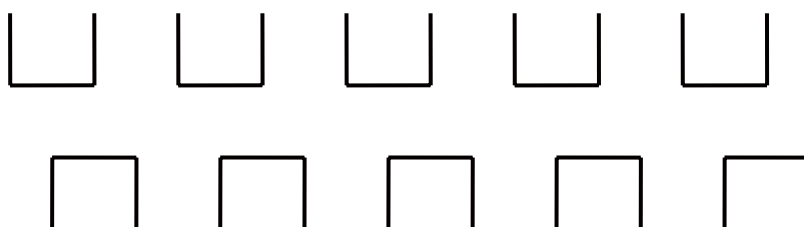
補正値は、調整パターンの横線が合わさるように設定します。



値を大きくすると、パターンの間隔が狭まります。



値を小さくすると、パターンの間隔が広がります。



5

#モトシホセイチ
*PAPER >+0400ハ°ルス



OK

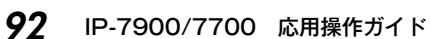
OK キーを押す

#モトシホセイチ
#PAPER >+0400ハ°ルス

STEP 3 「モドシチョウセイパターン」をもう一度印刷し、調整パターンの横線が合っているか確認する

1

調整パターンの横線が合うまで、「STEP 1」と「STEP 2」を繰り返す



①

②

③

#メディアモード シモード
>01:モード ス

モドス
モドサナイ

#キュウチャクファン
>01:チュウ

キョウ
チュウ
ジャク
オフ

#アフターヒータショキチ
>01:**° C

15°C~70°C
59°F~158°F

#フ リントヒータショキチ
>01:**° C

15°C~55°C
59°F~131°F

#プリヒータショキチ
>01:**° C

15°C~55°C
59°F~131°F

#カラーストライプ
>01:オン

オン
オフ

#ヘット タカサチヨウセイ
>01:+0.0mm

-0.3~+1.0
(単位:0.1mm)

#カ シツモード
>01:モード 1

モード 1
モード 2
モード 3
モード 4
オフ

#クリーニング モード
>01:モード 1

モード 1
モード 2
モード 3

#モト シホセイチ
>01:+0000パ ルス

±2000パルス
(単位:約2.5μm)

#タイキカンカク
>01:0000スキャン

0000~9999

#タイキシ カン
>01:10ビ ヨウ

1~99秒

#オウフクホセイチ2 L PAPER
>01:+00

+/-、-32~+31

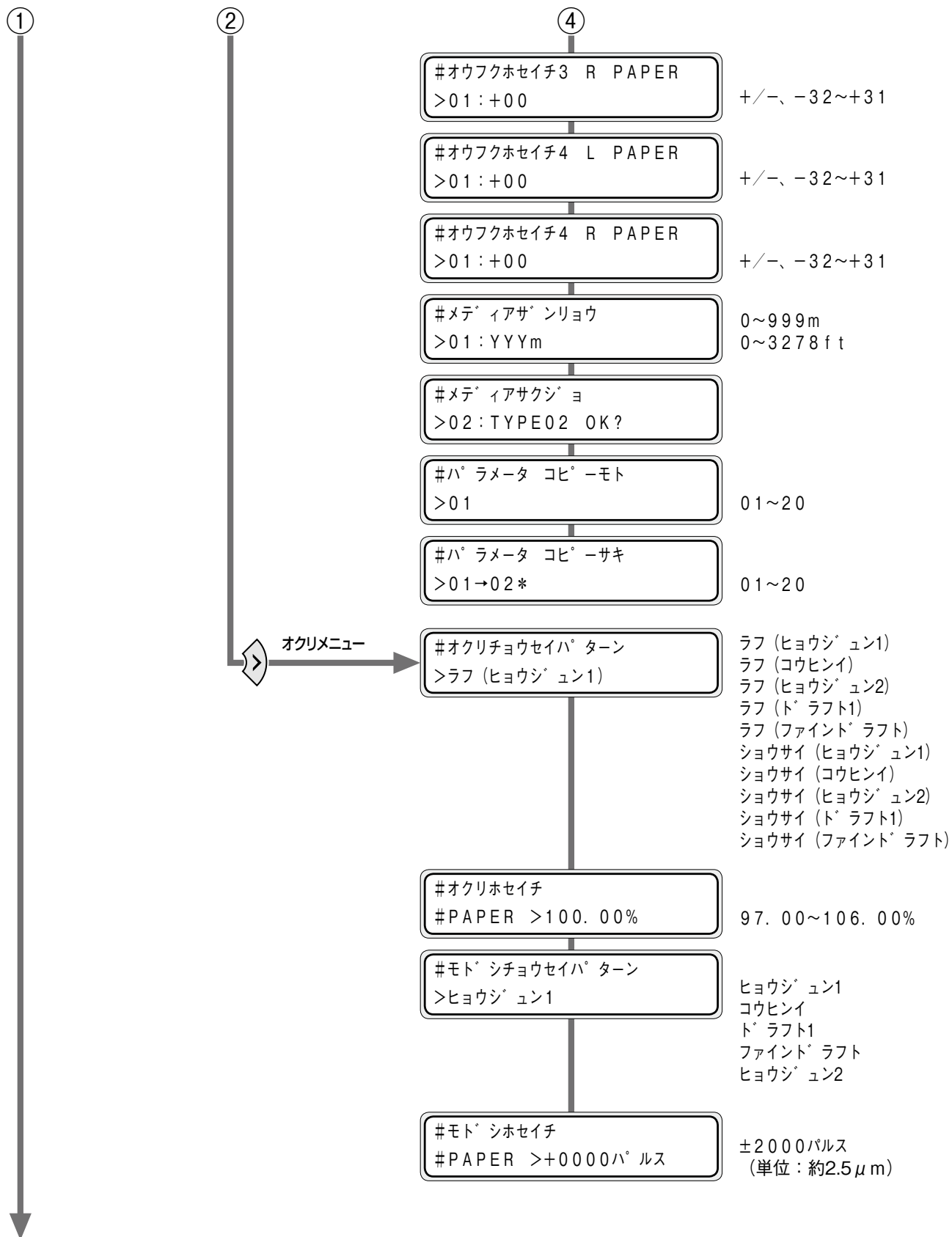
#オウフクホセイチ2 R PAPER
>01:+00

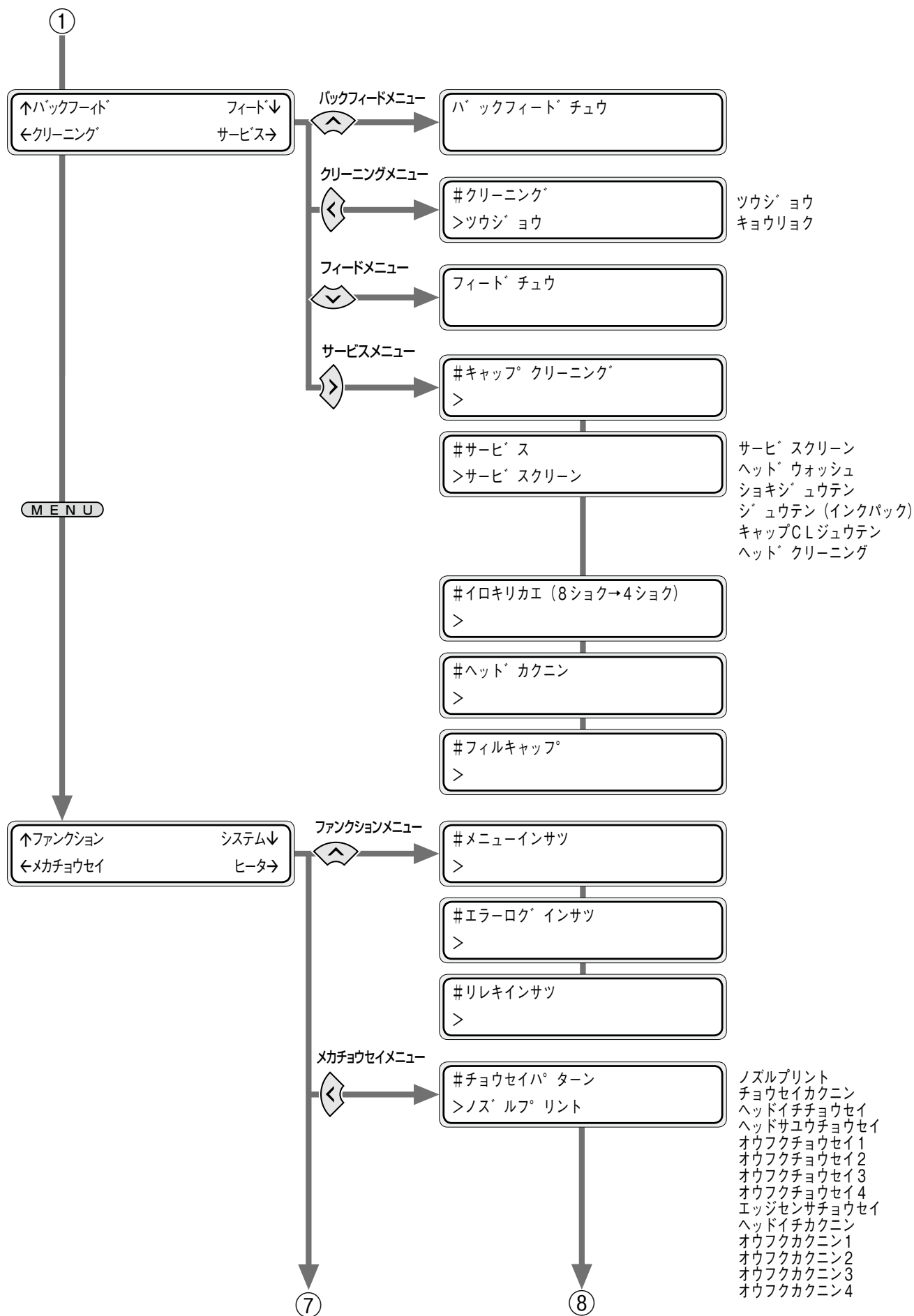
+/-、-32~+31

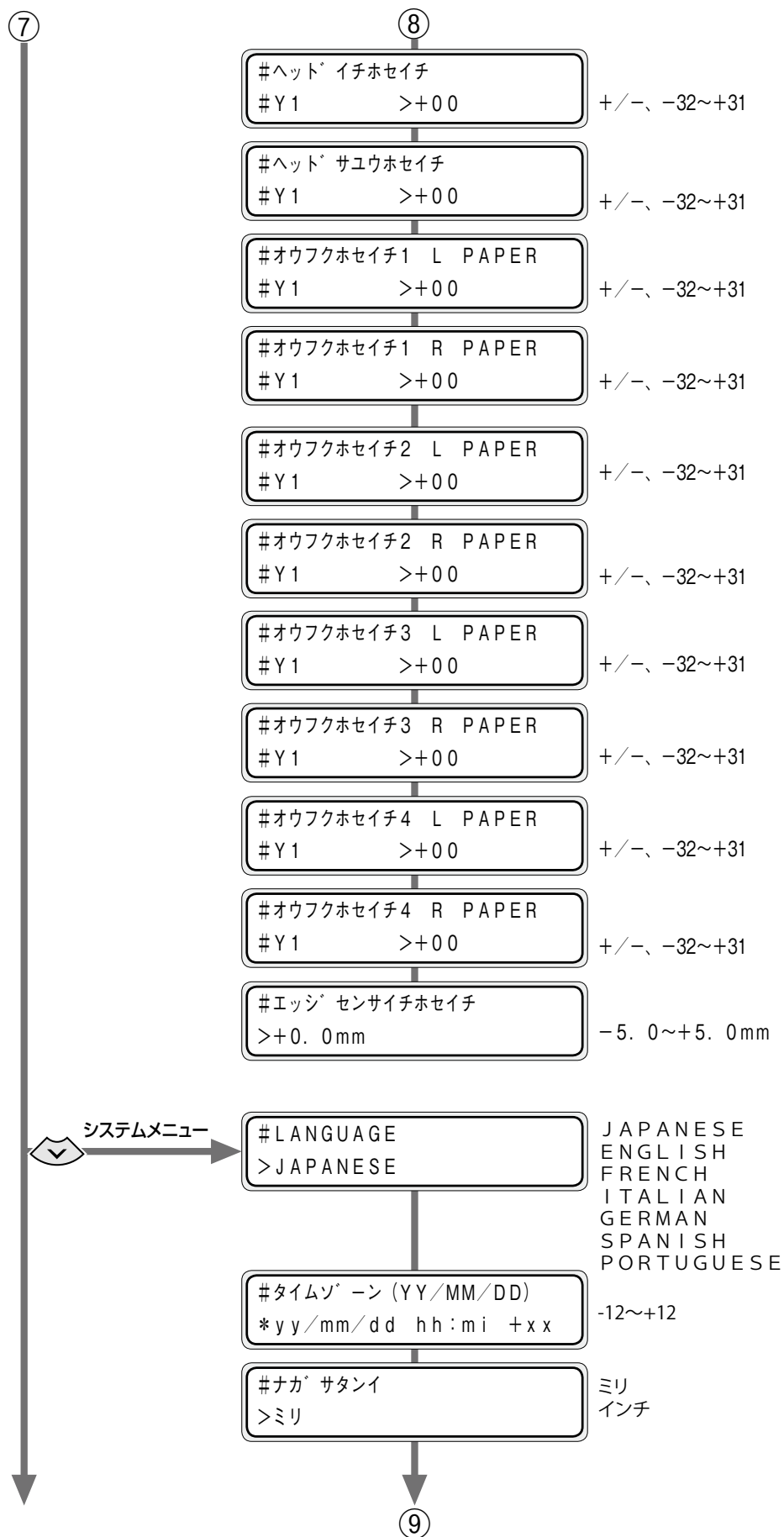
#オウフクホセイチ3 L PAPER
>01:+00

+/-、-32~+31

④

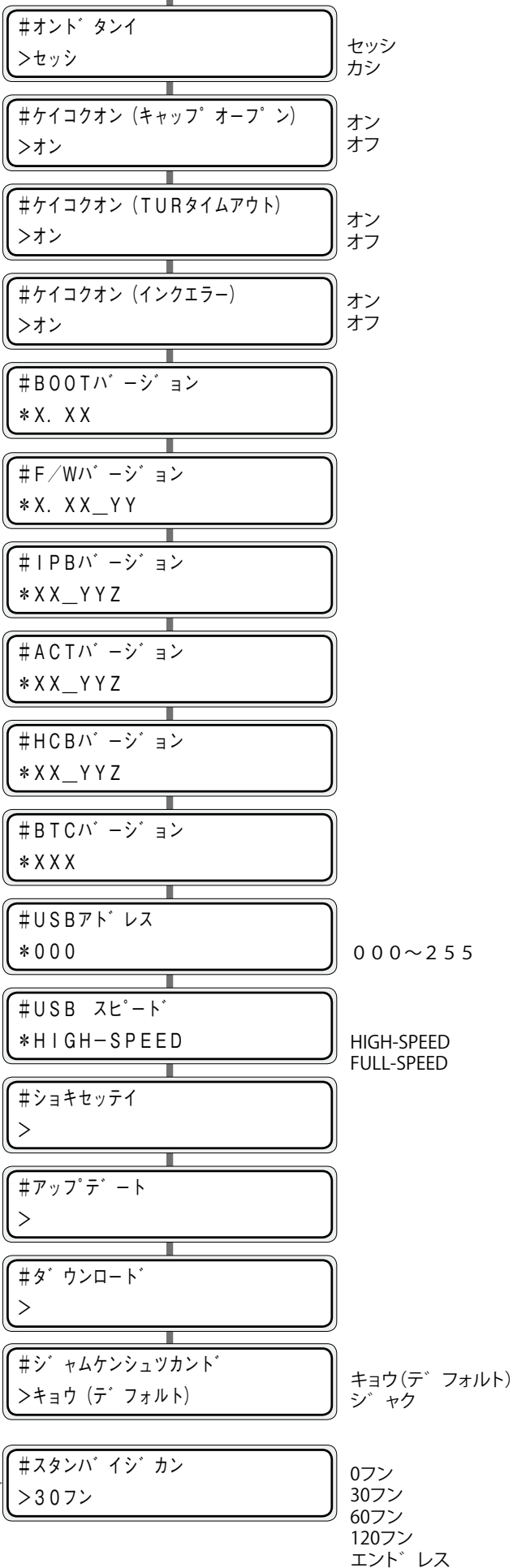






7

9



ヒータメニュー



あ		サービスクリーン.....	9
厚いメディアに印刷したい.....	31	左右の余白をできるだけなくしたい.....	28
い		し	
インクの残量.....	22	シート（カット）メディア.....	36
印刷モード.....	41	白スジが入る.....	43
印刷抜け.....	48	す	
色交換セット.....	52	スマートパステクノロジ.....	64
色切り換え.....	52	せ	
う		洗浄液セット.....	14
（メディアの）浮き上がりを防止したい	30	た	
え		縦スジ.....	46
エッジセンサ.....	78	て	
お		電源をオフする.....	8
オウフクカクニン.....	73	と	
オウフクチョウセイ.....	73	（メディアを）登録したい	26
メディアを送りたい.....	33	ドラフト1	41
オクリチョウセイ.....	66	に	
往復調整.....	73	ニジミが入る.....	46
か		の	
ガシツモード.....	64	ノズル詰まり.....	48
き		は	
キャップCL ジュウテン	50	（メディアの）張り付きをなくしたい	30
強力（キョウリョク）クリーニング.....	48	ひ	
く		ヒータコントロールメニュー.....	61
黒スジが入る.....	44	ヒータ温度設定.....	60
け		ヒョウジュン1	41
警告音.....	38	ヒョウジュン2	41
こ		ヒータの設定.....	60
（メディアを）コピーしたい	32	ふ	
コウノウド.....	41	プリセットメディア初期値.....	27
コウヒンイ.....	41	ファインドラフト1	41
さ		フィルキャップ.....	49

へ

ヘッドイチチョウセイ……………	69
ヘッドウォッシュ……………	14
ヘッドウォッシュ後のインク充填……………	19
ヘッドサユウチョウセイ……………	71
ヘッド位置調整……………	69
ヘッド左右調整……………	71

め

メディアの残量……………	23
メディア送り量……………	66
メニューツリー……………	80

も

メディアを戻したい……………	33
----------------	----

よ

(登録したメディアを) 呼び出したい ……………	28
汚れが入る……………	45

アルファベット

F

F/W のバージョンを確認したい ……………	25
------------------------	----

U

USB の接続状態を確認したい ……………	24
-----------------------	----